

令和6年度当初予算案

資料1



令和6年2月19日

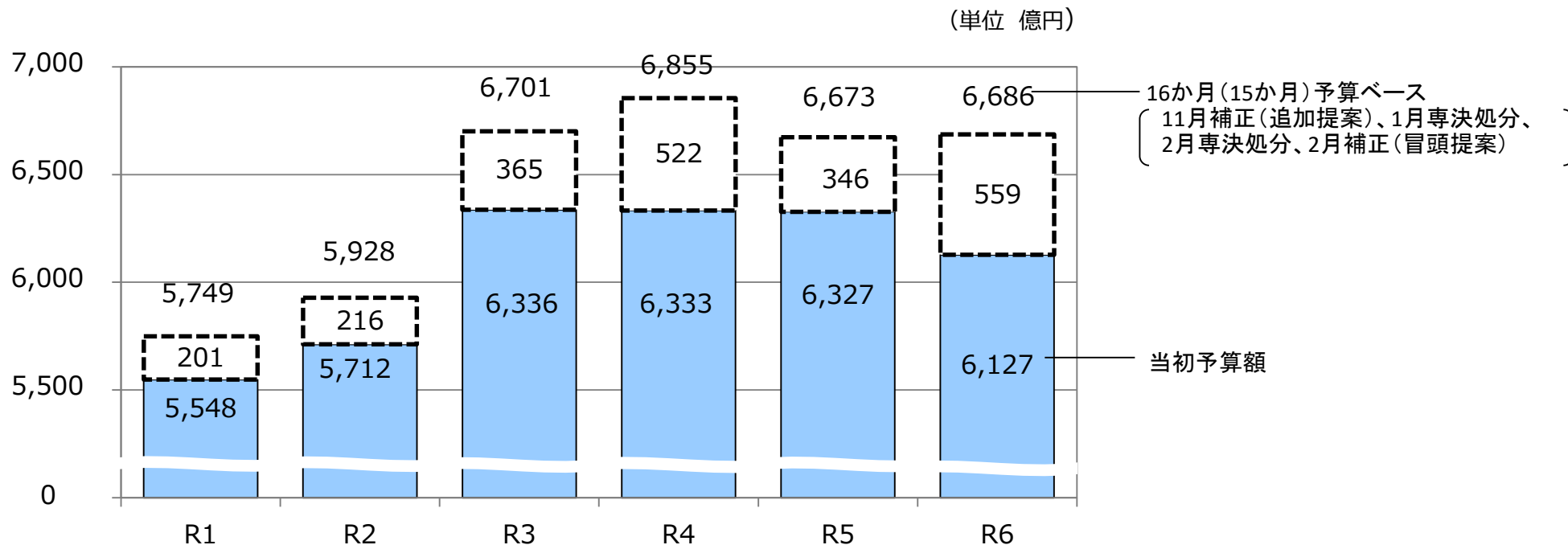
予算規模など

令和6年度一般会計当初予算案額

6,126億5,553万円

併せて令和5年度11月補正予算（追加提案324億円）、1月補正予算（専決処分112億円）、2月補正予算（専決処分69億円）
2月補正予算案（2月議会冒頭提案54億円）などを含めた16か月予算ベースでは **6,686億2,169万円**

➡ 当初予算では、コロナ関係経費の減などにより、前年度から減少するものの、16か月予算ベースでは、能登半島地震からの復旧・復興経費の増などにより前年度（16か月予算）と同規模



当初予算案のポイント（1）

1. 令和6年能登半島地震からの復旧・復興

<244億円>

(R⑤1月専決112億円、2月専決69億円、2月議会冒頭提案19億円、R⑥当初44億円)

令和5年度の補正予算（1月12日専決処分・2月6日専決処分・2月議会冒頭提案）に続き、被災された県民や事業者の皆さんの暮らしや事業活動の支援に取り組む

2. 未来に向けた「人づくり」と「新しい社会経済システム」の構築(新規・重点経費)

<90億円>

(R⑤96億円)

未来へ向けた「人づくり」

- こどもまんなか社会の実現、女性活躍の推進
- 教育の充実など人材育成の推進
- 健康寿命の延伸、医療・介護人材の確保 など

「新しい社会経済システム」の構築

- 新産業の創出、官民連携の推進
- 産学官連携によるDXの推進
- 公共交通への投資・参画、持続可能な地域づくり
- SDGsの推進、カーボンニュートラルの実現
- 関係人口の創出・拡大、観光振興など選ばれる県づくり など



**幸せ人口1000万～
ウェルビーイング先進地域、
富山の実現**に資する重点
施策を着実に推進

当初予算案のポイント（2）

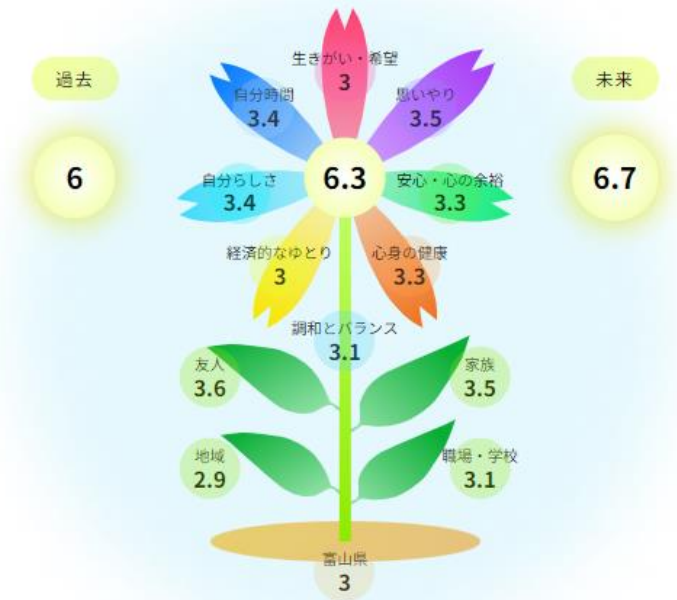
3. ウェルビーイング指標を活用した課題解決

<15億円> （※その他、関連するインフラ整備等の経費あり）

部局にとらわれないテーマを設定し、**施策設計図**（県民のウェルビーイング向上を意識した事業の整理）に基づき、**ウェルビーイング指標を活用**し、パッケージとして新たに企画・立案した事業に優先的に配分

▶ 4つのグループ・**23**テーマの事業パッケージ

- 1 “チャレンジ”と“つながり”から育む、若い世代のウェルビーイング
 …「若者・こどもを取り巻く“つながり実感”の充実」など **6** テーマ
- 2 “働きがい”と未来への希望を高める、働き盛り世代のウェルビーイング
 …「働きがいを実感できるウェルビーイング経営の実現」など **6** テーマ
- 3 “共助”で支え・高め合うウェルビーイングの輪の広がり
 …「地域防災力向上による安全・安心実感の充実」など **4** テーマ
- 4 ウェルビーイングを守り・支える“幸せの基盤”の保全と発展
 …「ウェルビーイングを支え、高める住まいの確保」など **7** テーマ



当初予算案のポイント（3）

4. 既存事業の抜本的見直し・再構築

令和5年度当初予算に続き、長年にわたり継続している事業などは、県民や事業者、関係団体の現場の声に加え、デジタル技術の進展など現下の社会情勢の変化を踏まえ、**事業の統廃合を含め、抜本的に見直し**

➡ 令和6年度当初予算における見直し額は、**事業費ベースで17.7億円**（R⑤10.5億円）

【主な取組み事例】

（1）官民協働事業レビューを踏まえた「県民目線」での見直し

○地域防災力向上支援事業の見直し（危管）

・自主防災組織に対する補助事業を統合整理し、利用しやすい制度に見直し

○中小企業デジタル変革推進事業の見直し(商労)

・デジタル化の相談窓口において新たに伴走型支援プログラムを設けるなど、相談・支援体制を強化

○地域おこし協力隊定着率向上対策事業の見直し(地創)

・国、県、市町村の役割を整理し、県の役割として実施する取組みを充実強化

○6次産業化とやまの魅力発信事業の見直し(農水)

・採択時の審査を厳格化したうえで、計画策定からフォローアップまでの伴走支援を強化

（2）デジタル技術の活用をはじめとする社会情勢の変化への対応

○とやまの観光魅力発信事業の見直し（地創）

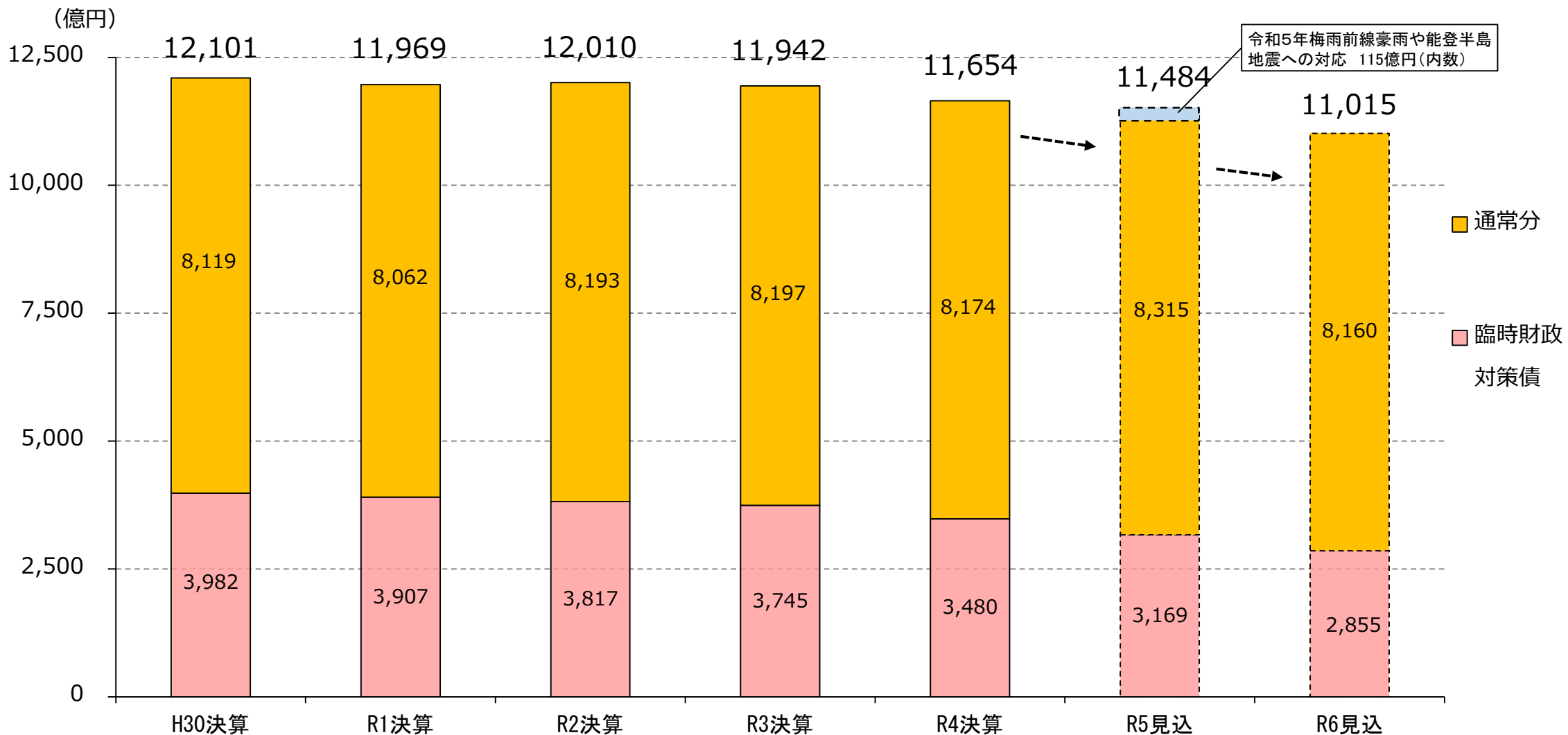
・観光情報を戦略的・効果的に発信するため、パンフレット等の紙媒体から、観光サイト「とやま観光ナビ」を活用したデジタルによる情報発信にシフト

○教材、報告書、事例集等のデジタル化（生環・教委）

・教育委員会が作成する教材、報告書、事例集や家庭での脱炭素の取組みの拡大を図る小学生向けの環境教材「とやま環境チャレンジ10」などをデジタル化

（参考）県債残高の見通し

県債残高は、能登半島地震対応等で増加するものの、臨時財政対策債の償還が進むことで、引き続き減少する見通し



※R6は当初予算起債見込額のみ計上

令和6年能登半島地震からの復旧・復興①

災害復旧対策

○公共インフラの災害復旧 110億3,143万円【R⑤.1専決処分】
 19億3,514万円【R⑤.2補正】 } 計 129億6,657万円

土木公共施設、農地農業用施設、漁港、学校、警察、県有施設等の災害復旧工事



国道359号(小矢部市内山)



伏木富山港(伏木地区)

生業の再建など

①なりわい再建支援事業 45億5,000万円【R⑤.2専決処分】

被災した中小企業が行う施設・設備復旧等に必要な経費を支援

②商店街災害復旧等事業 6,000万円【R⑤.2専決処分】

被災した商店街等が行う災害復旧や賑わい創出を支援

③農業・漁業・木材加工流通施設・設備の復旧 6億9,214万円【R⑤.2専決処分】

地震で被災した農業用施設、漁業用施設（漁具、漁船等）、木材加工流通施設等の復旧費用を支援

④北陸・とやま応援事業 13億円【R⑤.2専決処分】

国・北陸四県の協力による旅行割引（北陸応援割）や県独自のクーポン配布を実施

⑤震災対策特別融資 40億2,500万円

被災した中小事業者や地震の影響により売上げが減少した中小事業者の資金繰りを支援（県独自に保証料を引き下げ）

⑥小規模事業者事業継続力強化補助金 2,950万円

小規模事業者の事業継続力強化計画の策定や、計画に基づく設備導入を支援（地震対策に係る計画策定や設備導入の補助率を2/3→3/4に拡充）

令和6年能登半島地震からの復旧・復興②

被災者生活の再建など

① 富山県被災者生活再建支援事業費補助金 1億800万円【R⑤.1専決処分】

国の被災者生活再建支援制度の対象とならない半壊世帯を対象に県独自に支援

② 生活福祉資金（緊急小口資金）の特例貸付 1億9,000万円【R⑤.2専決処分】

地震により当面の生活費を必要とする世帯を対象とした、生活福祉資金（緊急小口資金）を特例貸付

③ 安全・安心とやまの住まい耐震化等促進事業 1億5,590万円

木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断や耐震改修工事等を支援



耐震改修工事

防災・減災対策

① 令和6年能登半島地震の災害対応検証事業 3,500万円

人流データの活用による住民の避難行動の分析や県の応急対応についての検証等を実施

② 防災情報発信強化事業 800万円

県公式Xに防災気象情報を自動投稿する機能を追加し、防災情報の発信を迅速化

③ 地域防災力向上支援事業 3,000万円

防災資機材の整備や地区防災計画の策定など自主防災組織による地域防災力向上の取組みへの支援を強化

④ 防災士スキルアップ研修事業 500万円

地域の防災活動の中心となる防災士に対し、さらなる知識・技能の向上を図る研修を新設



災害対策本部員会議

少子化対策、女性活躍の推進

①とやまマリッジサポートセンター運営事業 2,930万円

婚活サポーターの活動インセンティブを高める奨励事業や20代までの登録無料化など、会員数の増加に向けた取組みや会員へのフォロー体制を強化

②男性の育児休業取得緊急促進事業 5,190万円

中小企業における男性の育児休業取得者及び事業主に奨励金を支給することで男性の育児休業取得を促進

③「就活ラインとやま」情報発信強化事業 1,700万円

学生に対して就職先としての県内企業の魅力を伝えるため、新たな企業情報プラットフォーム「就活ラインとやま」による情報発信を強化

④学生と企業の交流強化事業 640万円

学生と県内企業の若手社員との交流会や企業バスツアーなどにより学生と企業が直接交流できる機会を提供

⑤「中高生×富山で働く女性」交流促進事業 350万円

中高生が県内での就職を視野に入れたキャリアデザインを考える機会づくりのため、県内で働く女性との座談会や企業訪問を実施

⑥働き方改革・女性活躍サポート事業 550万円

就職期の若者に選ばれる企業の魅力度の向上に向け、企業における働き方改革や女性活躍に資する取組みを支援

⑦アンコンシャス・バイアス気づき発信事業 595万円

性別によるアンコンシャス・バイアスへの気づきやその解消に向けた行動を促進するための普及啓発

⑧困難な問題を抱える女性支援推進事業 1,060万円

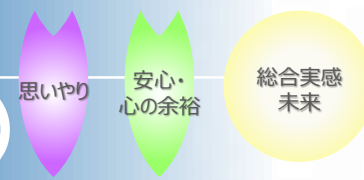
女子サロンの開催やSNS相談窓口の開設、生活必需品の提供など切れ目のない包括的な支援を実施

adoor

あなたを待っている人がいます。

by とやまマリッジサポートセンター





こどもまんなか社会の実現 (妊娠・出産期、子育て環境の充実)

妊娠・出産期の支援

① 子育て支援ポイント制度事業 2億2,370万円

出産から子育て期まで切れ目のない支援のため、県の「子育て応援券」を拡充し、地域通貨を付与するポイント制度（1歳半時に3万円）を開始（R6.10月～）

② 産前産後ヘルパー派遣事業 600万円

つわりや切迫早産などで日常生活が困難な場合など産前の家庭も産後ヘルパーの派遣対象に追加し利便性を向上

子育て環境の充実

① 保育料軽減事業 1億9,300万円

2歳児以下の保育料について、市町村と連携して第3子以降の所得要件を撤廃し、県下全域で第3子以降の保育料を完全無償化

② 私立高等学校の授業料等減免の拡充 3億1,022万円

年収910万円未満の多子世帯・ひとり親世帯の教育費負担の軽減を図るため、県独自の授業料・入学料減免を拡充し、実質無償化

③ 病児・病後児保育利便性向上事業 205万円

居住地を問わない広域受入体制構築に向け、協定金の精算制度の導入など市町村の円滑な運用を支援

④ 保育所等緊急支援カウンセラー派遣事業 280万円

保育所等における不測の事態の発生などにより、緊急に心理面での相談対応等が必要となった際のカウンセラー派遣体制を整備

⑤ こどもの意見プラス事業 50万円

小中学生等から意見を聴く機会を創出し、こども施策に反映

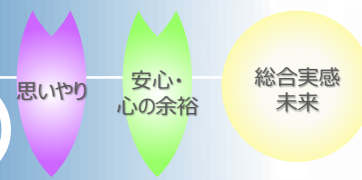
⑥ 新川こども施設整備・運営事業 6,805万円 (R7～23債務負担行為設定51億2,347万円)

新川こども施設の整備・運営を行う事業者を選定し、設計や工事、開業後の運営を含むPFI事業を実施



こども
まんなか





こどもまんなか社会の実現（困難を抱えるこどもへの支援など）

困難を抱えるこどもへの支援など

① こどもの居場所づくり支援事業 300万円

不登校など様々な困難を抱えるこどもの居場所を確保するため、市町村との連携により、民間団体の特色ある取組みを支援

② フリースクール等通所児童生徒支援事業 1,197万円

不登校児童生徒の居場所の選択肢を増やすため、フリースクール等の利用料の一部を支援

③ こども食堂応援事業 320万円

こども食堂の輪を広げるため、市町村との連携により、民間団体の初年度の運営費や特色ある取組みを支援



こども食堂の様子

④ ヤングケアラー支援対策事業 1,150万円

ヤングケアラーの早期発見と適切な支援につなげるため、市町村や民間団体と連携し、家庭へのヘルパー派遣などの総合的な支援体制を構築

⑤ こども総合サポートプラザ(仮称)の整備に係る工事費等 1億5,640万円

富山児童相談所（育成総合支援センター(仮称)）の相談機能と、こどもに関する相談窓口を集約する拠点「こども総合サポートプラザ(仮称)」を整備

⑥ 知的障害児入所施設のあり方検討会 60万円

知的障害児入所施設の今後のあり方について、有識者等による検討会を開催

⑦ 医療的ケア児等支援センターの体制強化 960万円

医療的ケア児等への支援ニーズの高まりに対応するため、医療的ケア児等支援センターの人員体制を拡充



「こども総合サポートプラザ」
整備予定地CIC

新産業の創出・産業競争力の強化

①産学官連携による新たな付加価値創出

- ・新たな成長産業の創出：ものづくり産業未来戦略(R6.3改定)に基づく成長産業分野に関する研究開発の支援（8,229万円）
サーキュラーエコノミーの取組みを推進するため、異業種連携によるカンファレンスの開催等（1,600万円）
- ・アルミ産業の振興（アルミコンソーシアム）：循環型アルミ産業網の競争力強化に向けた研究開発・人材育成（5,207万円）
- ・医薬品産業の振興（くすりコンソーシアム）：県内産学官による医薬品の研究開発・人材育成（2億3,400万円）

②中小企業トランスフォーメーション補助金 5億円【R⑤.11補正】

DXやGXを通して業務プロセスや事業構造の変革による生産性向上を図る取組みを支援

③企業の海外展開の促進

- ・インドでのビジネス展開の拡大やアンドラプラデシュ州との経済交流等を促進するため、経済訪問団を派遣（1,300万円）
- ・台湾電子設備協会による訪問団を受け入れ、台湾企業と県内企業との経済交流を促進（120万円）

④物流効率化支援事業 2,150万円【R⑤.2補正】

県内荷主事業者等による物流生産性の向上や担い手確保・女性活躍環境整備などの物流の効率化に資する取組みを支援

⑤伝統工芸産業の振興

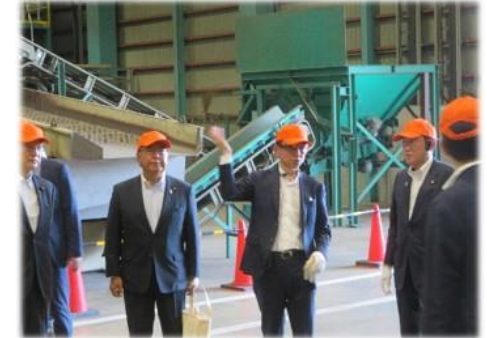
- ・県内の伝統工芸事業者が行う新商品開発、販路開拓の取組みに対し、専門家の伴走により支援（930万円）
- ・食器等の食分野に関する伝統工芸品を県内の寿司店に普及させるため、販路開拓を実施（350万円）

⑥ウェルビーイング経営の推進

- ・ウェルビーイング経営への認識や実態を把握・分析するため、経営者等に対する調査を実施（500万円）
- ・経営者等を対象にウェルビーイング経営を周知するフォーラムを開催（100万円）

⑦技術専門学院リニューアル事業 2億5,190万円

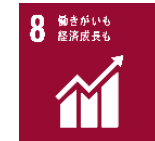
産業界のニーズ等に対応した人材育成のための訓練環境を整備



サーキュラーエコノミーに取り組む
県内先進企業の視察



デジタル人材の育成(技術専門学院)



チャレンジ人材の育成、官民連携の推進

チャレンジ人材の育成

①とやまスタートアップ「T-Startup」創出事業 6,100万円

スタートアップエコシステムの形成に向け、スタートアップ案件の発掘や集中的な支援、起業家をサポートする企業等の取組みを支援

②ポートランド起業・ビジネス研修事業 2,376万円

県内学生等の起業家マインドを醸成するため、米国オレゴン州ポートランド等での研修を実施

③高校生首都圏インターンシップ事業 300万円

若者の創業機運の醸成に向け、民間企業と連携し、県内高校生を対象に首都圏のスタートアップ企業でのインターンシップを実施

④富山・バーゼル交流促進事業 880万円

「世界の薬都」スイス・バーゼル地域との交流促進のため、学生の交換訪問プログラムを実施

⑤TPU国際化推進事業 1,000万円

県立大学の海外での研究拠点となる「シリコンバレー・オフィス」の設置等を通じ国際化を促進



T-Startup選定企業



海外での現地企業視察

官民連携の推進

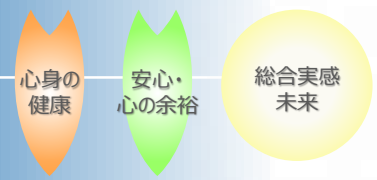
①官民連携推進・強化学業 100万円

行政課題解決に向けた提案を広く募集し事業化を目指す「民間提案制度」の試行や、職員向け官民連携セミナーを開催

②自然公園活性化推進事業 1,130万円

能登半島国定公園の雨晴キャンプ場エリアにおけるサウンディング調査を実施し、地域の活性化に向けた民間活力の導入可能性を調査

健康寿命の延伸



① PFSを活用した特定保健指導実施率向上に向けたスキーム構築事業 950万円

特定保健指導の実施率向上のため、市町村と連携し、PFS（成果運動型民間委託）を活用した事業スキームを構築

② 糖尿病性腎症重症化予防モデル事業 100万円

糖尿病性腎症患者の重症化予防のため、病院と地域の保健師や栄養士、薬剤師等の多職種連携による生活習慣改善等の患者支援をモデル的に実施

③ とやま健幸応援プロジェクト 280万円

企業や市町村等が主体となる健康づくりの取組みを支援するため、講師の派遣や市町村等の健康相談で使用する機器等を貸出し

④ 若年層の歯周病予防普及啓発（歯ぐきキュット作戦）事業 125万円

早期の歯周病予防を図るため、中学生に対する歯周病に関する正しい知識の普及や歯科保健指導を実施する市町村を支援

⑤ アピアランスケア支援事業 355万円

がん治療に伴う外見の変化等に対する相談支援体制を充実するとともに医療用ウィッグ等の購入費用を支援

⑥ ICTを活用した脳卒中等医療情報ネットワーク整備事業 8,100万円

脳卒中診療の医療提供体制を強化するため、県内の脳卒中急性期医療機関（15機関）に対し病院間の医療情報共有ツールの導入を支援

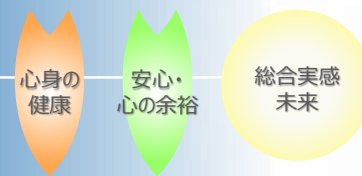
⑦ 第一種感染症病床整備支援事業 1億2,620万円

県立中央病院の第一種感染症病床を増床するとともに、富山大学附属病院での病床整備を支援



学校での歯科保健指導

医療・介護の人材育成・確保



① 富山県地域医療再生修学資金貸与事業 3,960万円

医学生向けの修学資金制度の対象について県外出身者に拡充するとともに、貸与額を増額

② 富山県地域薬剤師確保修学資金貸与事業 1,430万円

将来の薬剤師を育成するため、富山大学薬学部の地域枠の学生向けの修学資金貸与制度を創設

③ 「くすりの富山」薬剤師確保対策事業 1,100万円

公的病院等での短期インターンシップや地域枠の学生の視点を活かした中高生向け薬学の魅力PRを実施

④ 介護事業所インターンシップ事業 170万円

高校生の介護の仕事への関心を高め、介護分野への就労を促進するため、新たに有償インターンシップを実施

⑤ とやま介護テクノロジー普及・推進センター運営事業 4,770万円

相談窓口となるセンター機能を拡充し、介護現場の革新、生産性向上に資するワンストップ型の総合的な支援体制を整備

⑥ 介護テクノロジー導入支援事業 1億6,000万円

介護ロボットやICT機器の導入、通信環境の整備など、介護現場の生産性向上に資する環境づくりを支援

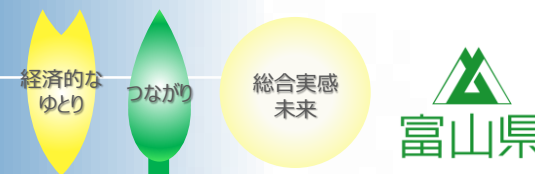
⑦ ケアマネジャーによる「人生会議(ACP)」促進事業 380万円

ケアマネジャー向けの人生会議(ACP)促進マニュアルの作成と研修会の開催により、在宅医療において人生会議を実践できる人材を育成



介護事業所でのインターンシップ

DXの推進《民間部門》



① 中小企業トランスフォーメーション補助金 5億円【R⑤.11補正、再掲】

エネルギー使用量や二酸化炭素排出量等の見える化により、DXやGXを活用した業務プロセスや事業構造の変革による生産性の向上を図る取組みを支援

② 中小企業デジタル変革推進事業 3,010万円

県内中小企業におけるデジタル人材の育成を図るため企業向け研修会を開催するとともに相談窓口を設置

③ サービス連携プラットフォーム利活用推進事業 4,842万円

県民向けスマートフォンアプリやサービスとの連携を拡充するとともに、地域通貨の協力店舗を開拓

④ 電子処方箋の活用・普及の促進事業 1億960万円

県内の医療機関、薬局における電子処方箋管理サービスの導入を支援し、活用・普及を促進

⑤ 農業DX推進事業 6,611万円

デジタル技術を活用した効率の高い営農を実現するため、農業機械の自動走行等に必要の高精度位置補正サービスの利用促進など環境整備を支援

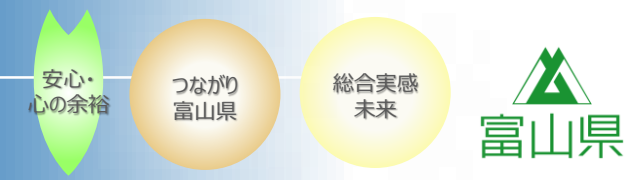
⑥ 建設業バックオフィス業務DX化推進支援事業 750万円

建設業の生産性向上や働き方改革に向け、バックオフィス業務のDX化に対する支援や建設企業向けの研修会を開催



サービス連携プラットフォーム

DXの推進《行政部門》



① 入札参加資格管理システムの電子申請対応改修 499万円

事業者からの入札参加資格申請について添付書類を含めて完全電子化

② 収入証紙制度の見直しに伴うキャッシュレス端末導入事業 888万円

収入証紙の廃止に伴い、窓口での納付方法としてキャッシュレス端末を導入

③ 運転免許DX化事業 5,785万円

運転免許証とマイナンバーカードの一体化や、オンラインでの更新時講習に対応するためのシステム更新等

④ 「データ連携基盤」利活用推進事業 3,980万円

データ連携基盤を活用し、国や県、市町村が保有する防災データを一元的に可視化するデジタル防災マップを提供

⑤ 生成AI活用業務支援システム整備事業 4,000万円

職員の業務効率化に向け、公文書や業務マニュアルなどの県独自データを取り込み、生成AIを活用した業務支援システムを構築

⑥ ウェルビーイング指標データベース構築・活用事業 800万円

ウェルビーイング指標データに基づく政策形成基盤を構築するため、県民意識調査結果のデータベース等を構築



運転免許更新のDX化



稼げる農林水産業の実現

①とやまの農林水産物輸出促進事業 1億2,590万円

地域商社等による輸出実践への支援、海外見本市への出展や他県と連携した現地プロモーションの実施等



海外プロモーション(ドイツ)

②「富富富」生産振興対策事業 8,240万円【一部R⑤.2補正】

「富富富」の生産拡大を図るため、栽培指導や種子の増産、乾燥調製施設の改修等を支援

③「とやまテロワールベジ」創造支援事業 400万円

本県の気候・風土・伝統など土地の個性（テロワール）を活かした野菜等のブランディングとプロモーションの支援



大区画農地でのたまねぎ栽培

④「行政伴走型」園芸産地づくりモデル実証事業 700万円

基盤整備を進める「水橋地区」の園芸導入を促進するため、モデル経営体への伴走支援を実施

⑤ 6次産業化チャレンジ支援事業 1,680万円

計画策定から取組み実施後のフォローアップまでの伴走支援により、新商品・サービスの開発等を推進



とやまテロワールベジのPR ドローン苗木運搬

⑥ 林業イノベーション推進総合対策事業 1,690万円

ICT等の活用による木材生産等の効率化、省力化を段階的に実証するなど、スマート林業を普及

⑦とやま海業BASE推進事業 110万円

海業(うみぎょう)推進のための効果的な施策づくりや機運醸成に向け、各地域のビジョンを策定する検討会を開催

農林水産業の担い手の育成・確保など

① 農業研修体制強化事業 5,930万円

とやま農業未来カレッジの定員拡充や、園芸経営実践コース(仮称)の開講(令和7年度)に向けた体制整備

② 青年農業者育成事業 2,700万円

就農コーディネーターを増員し、就農情報の発信、就農相談、マッチング支援など就農希望者をワンストップ支援する体制を強化

③ 農業DX推進事業 6,611万円【再掲】

デジタル技術を活用した効率の高い営農を実現するため、農業機械の自動走行等に必要の高精度位置補正サービスの利用促進など環境整備を支援

④ 集落営農広域連携促進事業 460万円

集落営農組織の世代交代や少人数大規模経営などに向けた広域連携組織のモデルづくりや労働力不足に支援

⑤ 林業人づくり総合支援対策事業 5,083万円

林業の担い手の確保・育成に向け、就業相談や養成研修の充実、労働安全衛生装備の導入を支援

⑥ 環境にやさしい農業「みどり戦略」推進事業 6,200万円

農業者や市町村の有機農業の拡大への取組みや、化学農薬を低減する技術実証など環境負荷軽減の取組みを支援



ICTハウス(イチゴ)での研修



ロボット田植機による田植え



1人でトラクタ2台を操作

公共交通への投資・参画



① 城端線・氷見線再構築事業 4億1,200万円【一部R⑤.2補正】

再構築実施計画に基づき、JR西日本が実施する城端線・氷見線のICカード対応改札機等の整備に対し支援

② 交通まちづくり投資促進事業 1,000万円

鉄道やバス等の公共交通の利用を促すまちづくりを推進するため、市町村が行う投資を支援

③ 鉄軌道の安全性や快適性の向上

- ・富山地方鉄道による鉄軌道の安全性や快適性の向上を図るため、沿線市町村と連携して支援（1億6,820万円）
- ・万葉線における交通系ICカード設備の導入に対し、沿線市と連携して支援（5,359万円）

④ 地域共創型移動サービス推進事業 2,600万円

生活圏内の身近な移動手段の確保に向け、地域の関係者の共創による持続可能な移動サービスの立上げを支援

⑤ 交通まちづくり参画促進事業 1,000万円

駅や公共交通を中心としたまちづくりを推進するため、公共交通の活性化に向けた住民等の参画を支援

⑥ 「電車・バスで行こう！」推進事業 500万円

公共交通を中心としたライフスタイルの推進に向け、交通事業者等と連携した利用促進キャンペーンを実施

⑦ 富山県MaaS利用拡大事業 1,000万円

公共交通の検索やチケット購入等が可能なMaaSアプリの利用拡大を図るため、デジタルチケット等の開発を支援



持続可能な地域づくり

① 持続可能な魅力ある田園地域創出事業 1,850万円

田園地域における地域資源の発掘、プロデュースと生業創出に向けた実証実験等を実施

② 中山間地域買い物安心支援事業 450万円

中山間地域における買い物への不安解消に向け、ネットスーパーの活用促進や、地域ぐるみの宅配ボックス導入の取組みを支援

③ まちづくり組織創出モデル事業 300万円

まちづくりに取り組む組織や人材を育成するため、個性的なまちづくりプロジェクトの立ち上げをモデル的に支援

④ 鳥獣対策の推進

- ・クマによる人身被害防止に向け、市町村によるクマ対策への支援を拡充するとともに、里山の緩衝帯整備、生息状況調査を実施（3,050万円）
- ・ニホンザルによる生活被害防止のため、加害群の個体数を調査（400万円）
- ・鳥獣管理の担い手確保に向け、SNSを活用したPR動画の発信や狩猟体験イベントを開催（300万円）
- ・イノシシやニホンジカ等の野生鳥獣による農作物被害の防止のため、ICTを活用した捕獲実証等を推進（2億9,148万円）

⑤ 安全安心アプリ導入事業 1,300万円

スマートフォン用のアプリを導入し、犯罪・不審者、交通事故、特殊詐欺、災害に関する情報等をタイムリーに発信

⑥ 地熱資源開発可能性調査 3,597万円

バイナリー方式による小規模な地熱発電導入の可能性を探るため、地下構造を推定する地表調査を実施



宅配ボックス(イメージ)



見通しを良くする緩衝帯整備



令和の公共インフラ・ニューディール政策

予算規模（11月補正・1月補正・2月補正を含む。）

- ◆ **公共事業約950億円**（R5比 113.3%）能登半島地震への対応を含め、前年度を大幅に上回る事業規模を確保
- ◆ **主要県単独事業約210億円**（R5比 103.1%）能登半島地震や資材単価上昇に対応

治水・海岸・土砂災害対策

- ① **河川・海岸・砂防事業 99.8億円**
堤防、離岸堤、砂防堰堤の整備 など
- ② **農地防災事業・治山事業 74.0億円**
防災重点農業用ため池、農業用水路の安全対策、治山施設の整備 など

インフラの老朽化対策

- **定期点検及び計画的な修繕・更新 159.9億円**
橋梁、トンネル、ダム、都市公園など

物流と生活を支える社会資本の整備

- ① **安全・安心のみちづくり 159.0億円**
通学路など歩道の整備、消雪施設、道路除雪、道路防災対策 など
- ② **道路ネットワークの整備 38.6億円**
県道高岡環状線、県道富山立山公園線 など
- ③ **港湾・漁港の整備 31.5億円**
臨港道路伏木外港1号線、漁港施設の整備 など

県立高校や県有施設

- 各種施設の維持修繕や災害復旧に加え、特別教室への空調整備や交通安全施設の新設・改良を計画的に推進 **35.5億円**



ため池の整備例（R5：美濃輪池地区）



県道富山魚津線
今川橋の架替

(参考) 社会資本整備の主な箇所

東海北陸自動車道の4車線化の推進

中日本高速道路株式会社

- 福光IC～南砺スマートIC
- 五箇山IC～城端スマートIC
- 白川郷IC～五箇山IC



4車線化の一部供用区間

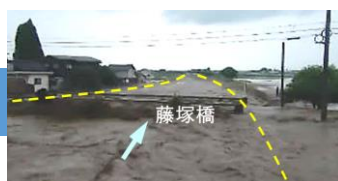
国直轄事業の推進

○国直轄事業の推進

- 富山高山連絡道路 (猪谷榆原道路, 大沢野富山南道路)
- 富山外郭環状道路 (豊田新屋立体, 中島本郷立体)
- 高岡環状道路 (六家立体)
- 国道8号 (入善黒部バイパス, 倶利伽羅防災)
- 伏木富山港 (伏木地区北防波堤の老朽化対策など)
- 神通川、利賀ダム、立山砂防
- 国営農地再編整備事業 (水橋地区) など



国道8号豊田新屋立体



白岩川 (R5.6豪雨による越水)



長川原地区 (R5.5豪雨による山腹崩壊)

治水・海岸・土砂災害対策

○河川・海岸・砂防事業

- ・河川 泉川(氷見)、坪野川(富山)、鴨川(魚津)
白岩川(立山・上市) 護岸の修繕や浚渫・伐木 など
- ・海岸 富山海岸(富山) など
- ・砂防 池川(南砺)など

○農地防災事業・治山事業

- ・農地防災 新開用水地区(黒部)
打尾谷ため池地区 (南砺) など
- ・治山 長川原(富山)予防治山 など

インフラの老朽化対策

○定期点検及び計画的な修繕・更新

- ・橋梁、トンネル、河川管理施設、ダム、砂防関係施設
都市公園、下水道施設などの点検・修繕・更新
- ・県道富山魚津線 今川橋の架替(富山) など



橋脚のひび割れ
橋梁の老朽化対策
(県道高岡小杉線 南郷大橋の損傷状況)

物流と生活を支える社会資本の整備

○道路ネットワークの整備

- 県道高岡環状線(高岡)
- 県道富山立山公園線(立山)
- 県道魚津生地入善線(魚津-黒部) など



県道高岡環状線(二塚交差点)

○安全・安心のみちづくり

- ・歩道整備 県道砺波小矢部線(小矢部) など
- ・消雪施設 県道上飯野入善停車場線(入善) など
- ・斜面对策 国道156号(砺波-南砺) など

○港湾・漁港の整備

- ・港湾 臨港道路伏木外港1号線(高岡) など
- ・漁港 新湊漁港(射水)の防波堤改良など

○都市基盤の整備

- 富山駅付近連続立体交差事業(富山)
- (都)東岩瀬線(富山)、(都)駅前栄町線(砺波)など



富山駅付近連続立体交差事業
(富山地方鉄道本線)

○市街地再開発事業

- 中央通りD北地区(富山)

○農地整備事業

- 開ほつ地区(高岡) など

○農業用水路の安全対策

- 蓋掛け等 県内20地区への支援 など

カーボンニュートラルの推進

民間部門

①再生可能エネルギー導入促進事業 1億2,516万円

県民や県内企業に対し、自家消費型の太陽光発電設備や再生可能エネルギー熱利用設備の導入を支援

②EV導入促進事業 3,513万円

県民や事業者におけるEV（電気自動車）や商業施設等における充電設備の導入を支援

③デコ活参加促進キャンペーン 1,000万円

脱炭素につながる豊かな新しい暮らしを創る国民運動「デコ活」について、県内に周知・拡大を図るキャンペーンを展開

④ウェルビーイングを高め、支える住まいの確保 1,000万円

まちなかの空き家解消や高性能リノベーション住宅の流通促進、県内ハウスメーカー等のノウハウ蓄積に向け既存住宅の改修を支援

⑤カーボンニュートラル戦略推進事業 728万円

県カーボンニュートラル戦略の目標達成に向け、推進月間（10月）での体験参加型イベントや小水力発電事業者向けの勉強会を開催



公共部門

①県有施設等のLED化 15億2,125万円

「県庁の率先行動目標」の達成に向け、県有施設や信号機、学校照明のLED化を計画的に推進

②県有施設等の太陽光発電設備の設置 5億3,784万円

県有施設や県立学校での太陽光発電設備の計画的な設置に向けた実施設計や工事など

SDG s ・多様性の推進、国際交流の推進

①とやま動物愛護センター(仮称)整備事業 1,830万円

整備・運営に係る基本計画の策定と民間活力の導入可能性調査を実施

②若者・こどものつながり実感充実事業 1,600万円

ウェルビーイング向上を意識し、高校生等を対象としたロゲイニングの開催や、絵本による子どもや家族向けの普及啓発等を実施

③工賃向上に向けたICT導入支援事業 500万円【R⑤.2補正】

障害者就労継続支援事業所に通う利用者の工賃向上のため、ICT機器の導入支援とデジタル業務への対応研修を実施

④特別支援学校医療的ケア児登校サポート事業 308万円

特別支援学校に在籍する医療的ケア児の登校のため、看護師の福祉タクシー同乗経費を支援

⑤外国人材地域交流促進事業 240万円

外国人材受入れに係る制度見直しを見据え、県内企業等による外国人材の地域交流や共生の取組みを促進

⑥富山県・遼寧省友好県省締結40周年記念事業 2,750万円

中国・遼寧省との友好県省締結40周年を記念して、友好訪問団や青少年訪問団の相互派遣等を実施

⑦富山県人会世界大会開催準備事業 750万円

富山県人会世界大会の令和7年度開催に向け、実行委員会や機運醸成のための南米若手会員サミットを開催



動物管理センターでの
保護犬の引取りの様子

スポーツ・文化の振興

① 県武道館整備事業 7,240万円

基本計画(令和5年9月改定)に基づき、基本設計を実施

② 県総合運動公園の魅力向上事業 2,000万円

県総合運動公園の魅力向上のため、民間事業者を主体とする公園全体の最適な管理運営手法を調査

③ 地域スポーツコミッションの設立に向けた調査研究事業 250万円

スポーツを通じた地域の活性化を図るため、富山県版のスポーツコミッションの設立に向けて調査・研究

④ 文化・スポーツ施設の予約システム導入推進事業 1,680万円

県内の文化・スポーツ施設の予約の利便性向上に向け、希望する市町村と共同調達により予約システムを導入

⑤ しあわせを伝えよう！ 絵てがみ作品募集事業 700万円

高志の国文学館において、ウェルビーイングをテーマとする絵てがみ作品を募集、展示

⑥ 立山博物館を中核とした文化観光拠点計画推進事業 1億633万円

立山エリアにおいて文化観光を推進し、観光誘客と地域活性化を図るため、拠点施設である立山博物館の展示の磨き上げや情報発信を強化

⑦ 四館連携推進事業 2,200万円

富山県美術館・水墨美術館・立山博物館・高志の国文学館の四館の連携による企画展やデジタルスタンプラリー等を実施



富山県美術館



水墨美術館



立山博物館



高志の国文学館

学校教育の充実（小・中学校教育の充実）

① 学力向上推進教員配置事業 1億8,251万円

教育の質の向上や教員の働き方改革の推進のため、専科指導と少人数指導を行う教員を小学校に配置

② スクール・サポート・スタッフの配置 3億586万円

教員の負担軽減を図るため、学習プリントの準備など教員の業務をサポートする人材を配置

③ 公立学校情報機器整備基金事業 6億1,900万円

公立小・中・義務教育学校・特別支援学校（小・中学部）における児童生徒用1人1台端末の更新を進めるため、基金を創設し、市町村の更新費用等を補助（R⑤.2補正で基金を造成）

④ 地域部活動の推進 1億4,877万円

中学校における休日の部活動の地域移行を促進し、地域ぐるみで支える環境を構築

⑤ スクールカウンセラー配置事業 2億1,213万円

不登校やいじめ等様々な課題を抱える児童生徒と保護者を支援するため、スクールカウンセラーを配置拡充し教育相談体制を強化

⑥ 夜間中学に関する調査検討事業 110万円

学び直しを支援するため、中学校夜間学級(夜間中学)設置に関するニーズ調査や検討会を実施

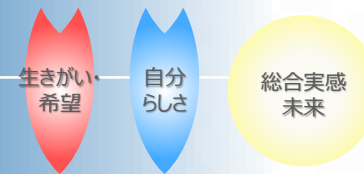
⑦ 人材確保に向けた臨時的任用講師の処遇改善



授業での端末利用の様子



地域部活動の様子



学校教育の充実（魅力と活力ある高校教育の充実など）

① 県立学校DX加速化推進事業 6,300万円【R⑤.2補正】

情報や数学、理科などの教育の充実や文理横断的な探究的な学び等を推進するため、県立学校にICT機器等を整備

② デジタル採点ソフト効果検証事業 322万円

県立高校においてデジタル採点ソフトを活用し、生徒の学力向上と教員の負担軽減を促進

③ 魅力と活力ある県立高校整備等検討事業 620万円

県立高校の再編に関する基本的な方針や、新たな学科・コース等の設置等について議論・検討

④ 県立図書館魅力向上発信事業 2,400万円

中高生を対象とした探究学習支援講座の開催や児童・生徒向けコーナーを整備

⑤ 県立大学情報工学部整備事業 12億979万円

情報工学部の令和6年4月の開設に伴い、新棟を整備

⑥ 県立大学大学院情報工学研究科(仮称)の設置検討 196万円

大学院情報工学研究科(仮称)の設置に向け、企業のニーズ調査を実施



VRを用いた探究活動



富山県立大学情報工学部新棟
(イメージ)

北陸新幹線の延伸を好機とした観光振興による誘客促進

① 関西圏情報発信拠点魅力発信推進事業 6,550万円

本年7月に北陸三県共同で開設する関西圏情報発信拠点において、物販や観光情報の発信、オープニングプロモーションを実施



関西圏情報発信拠点(イメージ)

② 敦賀開業・北陸デスティネーションキャンペーンによる魅力発信

- ・本年10月から実施する北陸デスティネーションキャンペーンにおけるJRと北陸三県でのイベントやプロモーション等 (2,750万円)
- ・大手旅行会社による誘客キャンペーンやマスメディアを活用した情報発信、北陸三県による相互誘客 (2,000万円)

③ 黒部宇奈月キャニオンルート的一般開放・旅行商品化

- ・本年6月からの一般開放・旅行商品化に向けた準備や旅行者の満足度を高める取組み等を支援 (2,200万円)
- ・記念イベントや開業気運を高めるプロモーションの展開 (2,250万円)



キャニオンルート内「高熱隧道」

④ 持続可能な観光地域づくり支援事業 1,000万円

県内観光事業者等が新たに行うデジタル技術を活用した取組みや、インバウンドに対応した受入環境整備などを支援

⑤ 「富山week in LONDON」プロモーション事業 2,500万円

欧州の旅行会社が集積する لندنでの、富山の暮らしや伝統文化等の体験・展示、観光PRや旅行会社向けセールス・商談



欧州でのプロモーション

⑥ 国内ランドオペレーター向け誘客推進事業 310万円

欧米豪などのインバウンド誘客を推進するため、都市圏のランドオペレーターに対するセールスや県内招へい

⑦ 東アジアでの観光誘客促進PR

- ・中国・遼寧省との友好県省締結40周年記念事業の一環として観光PRイベントを開催 (289万円)
- ・令和5年12月に開催した日韓観光振興協議会の成果を活かし、韓国現地でのコンサルティングの実施や旅行博に出展 (250万円)

関係人口の創出・拡大



①大阪・関西万博出展事業 1,900万円

2025年大阪・関西万博のテーマウィーク「健康とウェルビーイング」への出展に向けた実施計画を策定

②大阪・関西万博共創プロジェクト支援事業 150万円

万博の開催を契機として県内企業や団体が連携・共創する取組みを支援

③関西圏ユースコミュニティ構築・運営事業 100万円

本県に関心のある関西圏在住の若者ネットワークを構築し、参加者の交流を深めるイベントを開催

④「寿司といえば、富山」ブランディングの推進

- ・県鮭商生活衛生同業組合や寿司職人養成学校等と連携し、寿司店と若手職人とのマッチングを支援（500万円）
- ・県内での機運醸成に向け、県民家庭の日(毎月第3日曜)におけるキャンペーンなど普及啓発（2,900万円）
- ・イベントの開催やWebサイト、SNS等により富山の寿司の魅力等を国内外に発信（2,200万円）

⑤「ディズニー・アニメーション・イマーシブ・エクスペリエンス」開催支援事業 3,000万円

県内外のファミリー層等に対し、本県の魅力を発信するため、ディズニーアニメーションイベントの県内開催を支援

⑥とやま移住者マッチングセミナー開催事業 500万円

地域ニーズと移住者をマッチングするセミナーを開催

⑦移住支援金交付事業 9,096万円

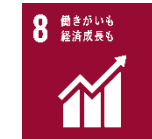
東京23区から本県へ移住・就職する世帯への支援金や、首都圏の大学生の県内企業での就職活動の交通費を支援



©Expo 2025



ディズニー・アニメーション・イマーシブ・エクスペリエンス
(2024.7.20～10.6テクノホール)



空港の活性化、港湾の整備

空港の活性化

① パスポート取得促進事業 2,190万円

県民のパスポートの取得を促進するとともに、富山空港の利用を図るため、取得費用の一部を助成(1名から申請可能)

② 台北便アウトバウンド利用促進事業 380万円

台北便の定期便再開に向け、旅行会社向けのアウトバウンドセミナーの開催や旅行商品造成に必要な経費を支援

③ ANAと連携した国内線の利用促進事業 3,050万円

ANAとの包括連携協定に基づき、西日本及び札幌を重点としたプロモーションや、個人向け搭乗キャンペーン等を実施

④ ビジネスジェット利用誘客推進事業 600万円

ビジネスジェットを利用する富裕層向け旅行会社や運航会社等に対するエアポートセールスを実施

⑤ 富山空港民間活力導入事業 6,100万円

富山空港における「混合型コンセッション」の導入に向け、運営事業者の選定に必要な手続きを実施



港湾の整備

① 港湾計画改訂調査事業 4,000万円

伏木富山港の将来ビジョンを定める港湾計画の改訂に向け、取扱貨物量等の見通しの推計などを調査

② 伏木富山港水素等受入環境検討調査 2,530万円

県内における次世代エネルギーの需要動向等を踏まえ、伏木富山港における水素等の受入に必要な設備・体制を調査



新湊地区国際物流ターミナル

ウェルビーイング指標を活用した課題解決に係る経費

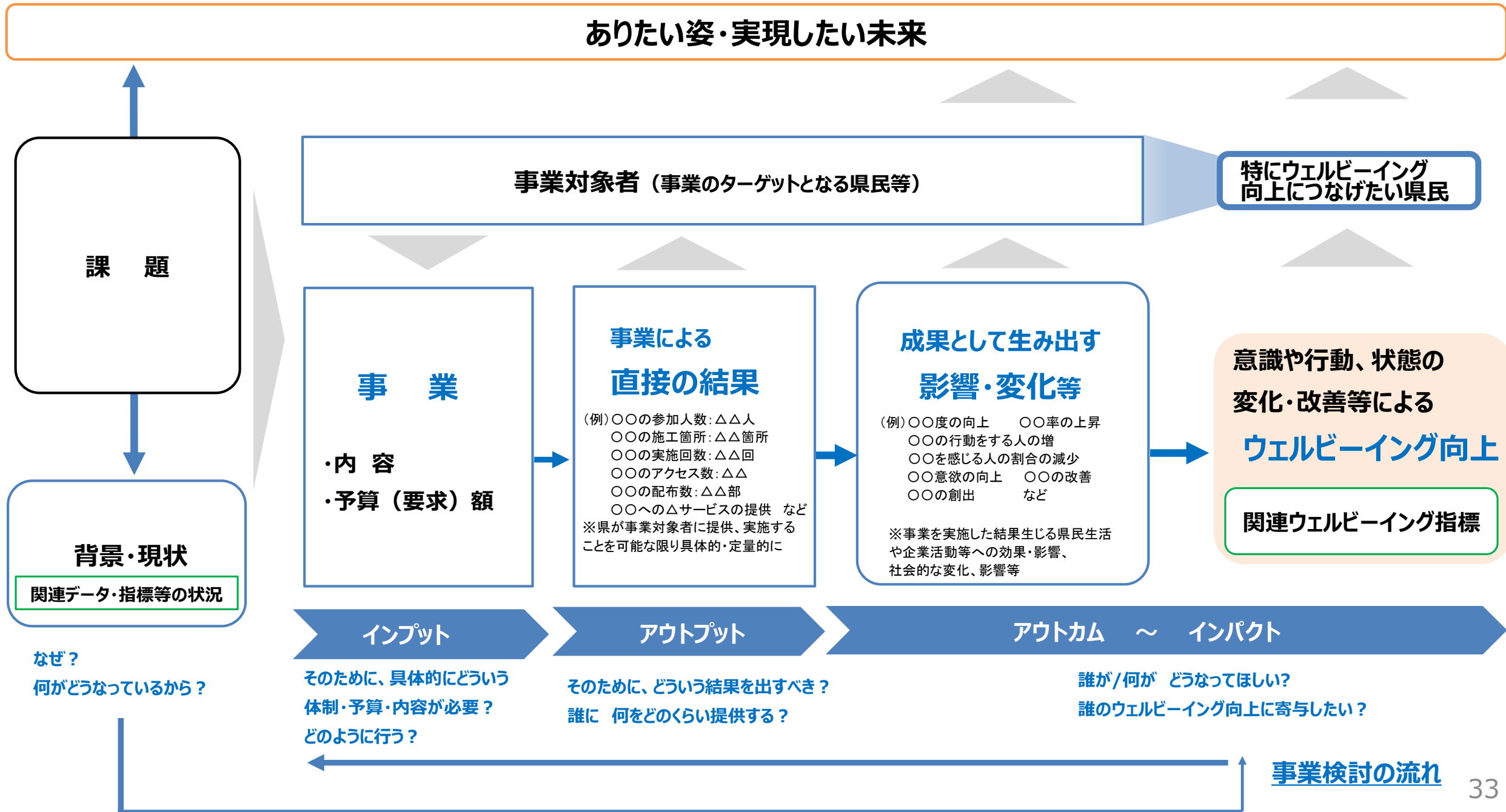
- 各部局において部局にとらわれないテーマを設定
- ウェルビーイング指標を活用し、「施策設計図」※を作成
- パッケージとして新たに企画・立案した事業に優先的に配分

14部局等から
23テーマ の提案

※施策設計図とは？

- ・施策の論理的な構造を明示する「ロジックモデル」をベースに、ウェルビーイングの要素を取り入れたもの。
- ① 県民のウェルビーイング向上をゴールとして常に意識
- ② 施策及びその成果がどう課題解決やウェルビーイング向上に繋がるのか、その流れをわかりやすく体系的に示す

施策設計図の構成



施策テーマのグループ

※課題感や施策の方向性により各テーマをグループ化

- 1 “チャレンジ”と“つながり”から育む、若い世代のウェルビーイング
- 2 “働きがい”と未来への希望を高める、働き盛り世代のウェルビーイング
- 3 “共助”で支え・高め合うウェルビーイングの輪の広がり
- 4 ウェルビーイングを守り・支える“幸せの基盤”の保全と発展

施策テーマ一覧

1 “チャレンジ”と“つながり”から育む、若い世代のウェルビーイング

- ① 若者・子どもを取り巻く“つながり実感”の充実
- ② 就職期の女性に選ばれ、女性が活躍できる環境づくりの推進
- ③ 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす学びの推進
- ④ 子どもの健やかな成長を支え、元気を創造する学びの推進
- ⑤ 県が保有・保管する史資料へのアクセス向上と積極的な活用促進
- ⑥ つなぐ・とやま都市農山漁村交流の推進

2 “働きがい”と未来への希望を高める、働き盛り世代のウェルビーイング

- ① “働きがい”を実感できるウェルビーイング経営の推進
- ② 県民が富山の自然や食などの幸せの基盤に誇りと愛着を持ち、自分の能力を活かして働くことができる富山県
- ③ 県内事業者のGX社会への的確な対応による持続可能な成長の実現
- ④ サーキュラーエコノミー（循環経済）の推進によるものづくり産業の新たな価値の創造
- ⑤ 県職員のエンゲージメント・ウェルビーイング向上による質の高い行政サービスの持続的な提供
- ⑥ 公金・会計事務のデジタル化による行政サービス向上と県庁の業務改革との好循環創出

3 “共助”で支え・高め合うウェルビーイングの輪の広がり

- ① 地域防災力向上による安全・安心実感の充実
- ② 支え・支えられる共助社会の実現
- ③ 高齢者が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して過ごすことのできる環境づくり
- ④ デジタル変革で紡ぐワクワクする富山県づくり

4 ウェルビーイングを守り・支える“幸せの基盤”の保全と発展

- ① ウェルビーイングの向上をもたらす最適な地域交通サービスの実現
- ② ウェルビーイングを支え、高める住まいの確保
- ③ 県民の命を守り、ウェルビーイングを支える強靱な公共インフラの整備
- ④ 県営電気・水道の安定供給とSDGsへの貢献
- ⑤ 食を通じた県民の幸せ実感の向上
- ⑥ 様々な人が地域とのつながりを実感し、自分らしくいきいきと暮らすことのできる富山の未来に向けた地域づくり
- ⑦ 「デコ活ー脱炭素につながる新しい豊かな暮らしー」の取組み拡大

ありたい姿・**1**
実現したい未来

若者や子どもが、様々な人との良好なつながりや活動を通して、地域や富山県への愛着や誇りを感じられている。
意見が尊重され、チャレンジを促す環境があり、積極的に地域や社会に関与・貢献できている。

課題 **3**

・ウェルビーイングは、10代は比較的高い傾向にあるが、20代(特に後半)から低下。全体的に前向きな意識やつながりが低くなる傾向。下げない→維持・向上に繋げる必要
・所属を越えた異世代・同世代との交流、地域での活動など「つながり」を自覚し深める機会が必要
・自分自身を肯定的に捉え、チャレンジする気持ちを尊重、後押しできる環境づくり
・15歳未満のWBデータが少ない

背景・現状

2 **〇ウェルビーイング指標**
・つながり実感 (地域)
10代: 3.11 20代: 2.64
※地域には明るい気持ちになる場所や機会が多くある、が(同2.88、2.33) 低い傾向
・つながり実感 (富山県)
10代: 3.13 20代: 2.76
※未来への期待が(同2.76、2.33) 低い傾向
・生きがい・希望実感
10代: 3.23 20代: 2.79
※20代はチャレンジ(2.72)、10~20代は将来の期待、ワクワクが低い傾向(同3.08、2.63)
・総合実感 (現在)
10代: 6.56 20代: 6.02

対象 **4**

10~20代の若者・子ども、周囲の大人

特に **5**

10~20代前半、進学・就職期の若者・子ども

9 実施事業 (インプット)

I つながり実感充実
① **(新)** ウェルビーイング・ロゲイニング事業 700万円*
・WBの各要素に繋がるロゲイニングの横展開
② ウェルビーイング・デジタルコミュニティ活性化支援事業 600万円
③ **(新)** ウェルビーイング絵本等活用・展開事業 550万円*
・室井さんの絵本を活用し家族や周囲と共に考える機会を提供
④ **【連携】(新)** しかあわせを伝えよう! 絵てがみ作品募集事業 (生環) 700万円
・WBテーマの絵てがみ作品公募、イベント

・高校生提案具現化
・R5.12実証 →WB向上効果

情報発信・イベントで連携

(連携) WBの視点から成果等の特設サイトで発信

II チャレンジ応援
① **(新)** 大学コンソ連携事業 200万円*
② **(拡)** とよまスタートアップ「T-Startup」創出事業のうち若者創業機運醸成 350万円
③ **(新)** 高校生首都圏インターンシップ事業 300万円
④ **【連携】(新)** 若者・大学・企業等協働・連携促進事業 (生環) 80万円
⑤ **【連携】** NPOチャレンジプロジェクト事業 (生環) 60万円
⑥ **【連携】** 関係人口1000万人協働促進事業のうちワカモノ活動推進472万円の内数
III (新) 子どものウェルビーイング調査150万円*

8 直接の結果 (アウトプット)

I ① 県内外高校生対象の大規模大会 1回、500名
・子ども、大学生、新社会人、異世代ミックスなどWB指標の状況からターゲットを特定→テーマ別の大会3回程度、計500名程度
※企画・運営に生徒等も参画
② コミュニティイベント 5回
③ 絵本配布 学校等2000冊想定
④ 応募者500名想定
絵手紙教室 2回、表彰式・トークイベント 1回 300名程度

II ① コンソ提案事業 2件、学生等30名程度参加
② 事前セミナー 2回×20名、起業体験プログラム(マルシェ)4校
③ 高校生20名程度
④ 交流会 1回 NPO・大学生90名程度
⑤ 大学生参加 30名程度
⑥ 採択 5件程度
教委と連携
III 小1~中3 計1600名予定

*は、若者・子どものつながり実感充実事業

影響・変化 (アウトカム~インパクト) **7**

・地域や富山県の良さの再認識、愛着・誇り、つながり醸成 (富山県を自信を持って誇れる人の増)
・気持ちが明るく・楽しくなる 機会の増
・多様な居場所の提供
・家族や友達等周囲の人とのつながりの気づき、深まり
・他世代・同世代交流の広がり、他者への関心、相互理解
・自分自身を肯定的に捉え、積極的にチャレンジする意欲の向上
・若者のチャレンジの場の多様な選択肢を提供
・地域や社会に積極的に関与し、貢献できる自己有用感の向上
・前向きなチャレンジ、意思決定を周りが尊重し、実現を応援できる環境づくり
・子どものウェルビーイング施策の効果的展開、子どもWB向上

ウェルビーイング向上 **6**

つながり (地域/友人)

・様々な人との交流、相互理解
・地域で前向きな気持ちになる
・地域での自己有用感

つながり (富山県)

・意見や価値観を理解・尊重する環境づくり
・期待や楽しみ、ワクワクする気持ち
・自然や食、文化等への愛着・誇り

生きがい・希望

・目標を持ちチャレンジする心
・やりがい・生きがいの実感
・楽しみ、ワクワク感の向上

・若者が自発的・主体的に地域・人を紡ぎ・広げる活動が展開されている
・そうした活動を、周りが後押し・協力できている

4-③ 県民の命を守り、ウェルビーイングを支える強靱な公共インフラの整備

安全・安心で利便性の高い社会資本が整備され、生活の豊かさを感じ続けることができる。

1 ありたい姿・実現したい未来

3 課題

- ・全国で自然災害が頻発しており、**災害による人命・財産の被害を防止・最小化**する必要がある。
- ・**優先度を考慮した老朽化対策**を実施する必要がある。
- ・物流や生活の基盤となる**信頼性の高い社会資本を整備**する必要がある。
- ・**建設業が地域の「守り手」として誇りに満ちた魅力ある産業**となる必要がある。

2 背景・現状

- 激甚化・頻発化する自然災害
 - ・令和3年1月大雪
 - ・令和5年6、7月豪雨
 - ・令和6年能登半島地震
- 社会資本の整備状況
 - ・道路改良率：82.5% (R3)
 - ・河川整備率：57.1% (R4)
- 建設業就業者：▲38%(H12→R2)
- ウェルビーイング指標・県民意識調査(全年代)
 - ・安心・心の余裕 うち住まいの安心 82.1% ※「はい」又は「どちらかと言えばはい」
 - ・つながり(富山県) うち暮らしの安心 防災：71.4% 移動(交通)：44.6% ※「不安がない」に「はい」又は「どちらかと言えばはい」
 - ・愛着・誇りがある：78.5% ※「はい」又は「どちらかと言えばはい」
 - ・富山県での暮らしをすすめたい 51.6% (11段階評価7以上)

4 5 対象

各種社会資本を基盤として日常生活や事業を営む県民等、地域の「守り手」である県内の建設業従事者

9 実施事業 (インプット)

I 治水・砂防などの防災対策

- ①河川・海岸事業 61.1億円
- ②砂防事業 38.7億円
- ③道路法面对策 9.0億円

II インフラの老朽化対策

- ①定期点検及び計画的な修繕・更新 159.9億円

III 物流と生活を支える社会資本の整備

- ①安全・安心のみちづくり 150.0億円
- ②道路ネットワークの整備 38.6億円
- ③港湾の整備 22.7億円

IV 建設業の担い手確保

- ①建設業の魅力発信イベント 350万円
- ②建設企業等への補助など 1,610万円

8 直接の結果 (アウトプット)

I 治水・砂防などの防災対策

- ①河川堤防、離岸堤の整備 など
- ②砂防堰堤、待受擁壁の整備 など
- ③法面保護工、落石防護工の整備など

II インフラの老朽化対策

- ①橋梁、トンネル、ダム、下水道等の点検・修繕・更新 など

III 物流と生活を支える社会資本の整備

- ①通学路などでの歩道や消雪施設の整備、道路除雪の実施 など
- ②道路ネットワークの骨格を形成する幹線道路や生活に密着した道路の体系的な整備 など
- ③国際拠点港湾としての役割を果たすための機能強化 など

IV 建設業の担い手確保

- ①けんせつ×テックフェスの開催
- ②建設業バックオフィス業務DX化推進支援：約10件
- 建設業担い手確保支援：約5件 など

7 影響・変化 (アウトカム～インパクト)

I 耐震性向上や水害リスクの低減等により、**安全・安心な県民生活の向上**

II 計画的な維持管理・更新により、**安定した生活環境の維持**

III 移動時間の短縮や輸送コスト低下等により、**経済活動における生産性の向上、ビジネス機会の拡大、民間投資の誘発・促進**

IV 地域の「守り手」である**建設業の経営基盤の安定、担い手の確保**

6 ウェルビーイング向上

安心・心の余裕

- ・住まいの快適・安全・安心感

つながり(富山県)

- ・富山県での暮らしの安心感【防災】【移動(交通)】
- ・富山県での暮らしをすすめたい気持ち
- ・富山県への愛着や誇り

今回の予算編成過程での効果

- ◆ ウェルビーイングを意識した県民目線での議論活性化
- ◆ 指標のデータ状況に基づく新たな取組みの創出
- ◆ ウェルビーイングの観点からの既存事業の捉え直し、価値の再考
- ◆ 部局を越えた施策立案や連携の促進
- ◆ 施策の基礎となるエビデンス、成果・効果につながる論理展開の見える化・共有

1 “チャレンジ”と“つながり”から育む、若い世代のウェルビーイング

施策テーマ	とりまとめ部局
①若者・こどもを取り巻く“つながり実感”の充実	知事政策局
②就職期の女性に選ばれ、女性が活躍できる環境づくりの推進	知事政策局
③子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす学びの推進	教育委員会
④子どもの健やかな成長を支え、元気を創造する学びの推進	教育委員会
⑤県が保有・保管する史資料へのアクセス向上と積極的な活用促進	経営管理部
⑥つなぐ・とやま都市農山漁村交流の推進	農林水産部

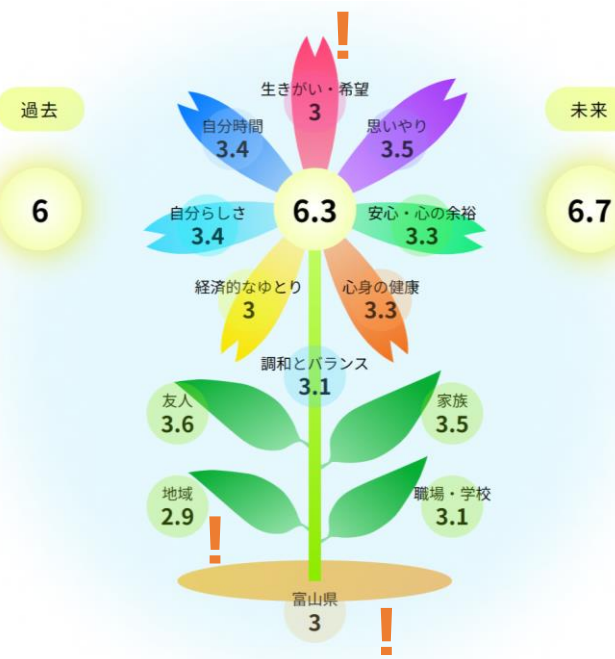
1 “チャレンジ”と“つながり”から育む、若い世代のウェルビーイング

関連指標等

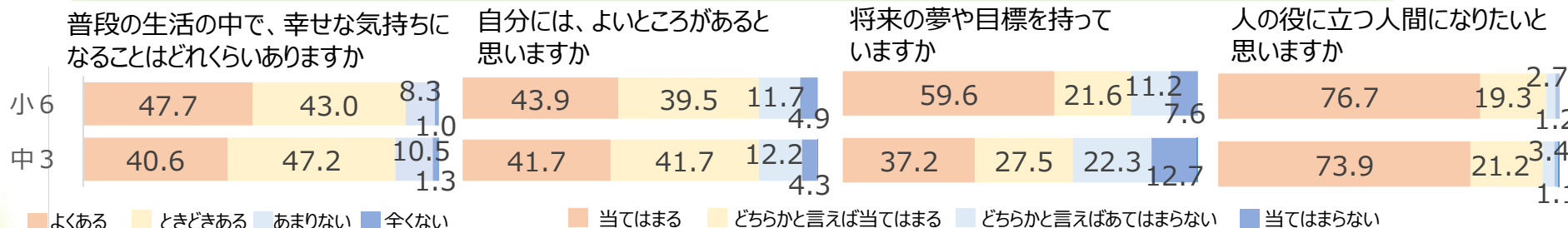
15～29歳（全体）のウェルビーイング指標の状況

	なないろ指標（抜粋） ^{4段階（1～4）}					つながり指標（抜粋） ^{4段階（1～4）}						総合指標（抜粋） ^{11段階（0～10）}				
	生きがい・希望	①やりがい・生きがい	②困難を乗り越えられる	③夢や目標にチャレンジ	④将来に期待、楽しみ	地域	③楽しい、嬉しい場所・機会	④意見、価値観理解・尊重	富山県	②意見、価値観理解・尊重	③成長の学び・経験	④夢や目標の実現	⑤未来に期待、楽しみ	⑥愛着や誇り	現在	未来
15～29歳	3.01	3.15	3.04	3.01	2.86	2.89	2.61	2.93	2.95	3.08	3.03	2.86	2.56	3.29	6.30	6.71
15～19歳	3.23	3.34	3.22	3.29	3.08	3.11	2.88	3.14	3.13	3.27	3.27	3.10	2.76	3.34	6.56	6.96
20～24歳	2.87	3.02	2.89	2.87	2.71	2.82	2.49	2.92	2.88	2.99	2.99	2.77	2.40	3.27	6.18	6.62
25～29歳	2.71	2.89	2.83	2.56	2.55	2.46	2.18	2.41	2.63	2.74	2.53	2.38	2.27	3.21	5.86	6.27

（参考）15～29歳（全体）のウェルビーイング指標の状況



小学校6年生・中学校3年生の状況（R5全国学力・学習状況調査（児童／生徒質問紙調査））



指標の状況を踏まえた施策の方向性

- ◆ 様々な**チャレンジや経験**を通じて、将来に**期待や楽しみ**を持つことができる取組み
- ◆ **地域**の中で、**明るく前向きな気持ち**を感じられる取組み
- ◆ 世代間など**多様な人との交流**が活発化し、**相互理解やインクルーシブ**が広がる取組み
- ◆ 地域や富山県との**“つながり”**を感じ、**誇りや愛着**を更に高める取組み

1 - ① 若者・子どもを取り巻く“つながり実感”の充実

【知事政策局】

若者や子どもが、様々な人との良好なつながりや活動を通して、地域や富山県への愛着や誇りを感じられている。意見が尊重され、チャレンジを促す環境があり、積極的に地域や社会に関与・貢献できている。

ありたい姿・実現したい未来

課題

・ウェルビーイングは、10代は比較的高い傾向にあるが、**20代（特に後半）から低下**。全体的に前向きな意識やつながりが低くなる傾向。下げない→維持・向上に繋げる必要
 ・所属を越えた異世代・同世代との交流、地域での活動など「**つながり**」を自覚し深める機会が必要
 ・自分自身を**肯定的に捉え、チャレンジする気持ちを尊重、後押しできる環境づくり**
 ・15歳未満のWBデータが少ない

背景・現状

○ウェルビーイング指標
 ・つながり実感（地域）
 10代：3.11 20代：2.64
 ※地域には明るい気持ちになる場所や機会が多くある、が（同2.88、2.33）低い傾向
 ・つながり実感（富山県）
 10代：3.13 20代：2.76
 ※未来への期待が（同2.76、2.33）低い傾向
 ・生きがい・希望実感
 10代：3.23 20代：2.79
 ※20代はチャレンジ（2.72）、10～20代は将来の期待、ワクワクが低い傾向（同3.08、2.63）
 ・総合実感（現在）
 10代：6.56 20代：6.02

対象

10～20代の若者・子ども、周囲の大人

特に

10～20代前半、進学・就職期の若者・子ども

実施事業（インプット）

I つながり実感充実

- ① **（新）** ウェルビーイング・ロゲイニング事業 700万円*
 ・WBの各要素に繋がるロゲイニングの横展開
- ② ウェルビーイング・デジタルコミュニティ活性化支援事業 600万円
- ③ **（新）** ウェルビーイング絵本等活用・展開事業 550万円*
 ・室井さんの絵本を活用し家族や周囲と共に考える機会を提供
- ④ **【連携】（新）** しあわせを伝えよう！
 絵てがみ作品募集事業（生環）700万円
 ・WBテーマの絵てがみ作品公募、イベント

・高校生提案具現化
 ・R5.12実証→WB向上効果

情報発信・イベントで連携

II チャレンジ応援

- ① **（新）** 大学コンソ連携事業 200万円*
- ② **（拡）** とよまスタートアップ「T-Startup」創出事業のうち若者創業機運醸成 350万円
- ③ **（新）** 高校生首都圏インターンシップ事業 300万円
- ④ **【連携】（新）** 若者・大学・企業等協働・連携促進事業（生環）80万円
- ⑤ **【連携】** NPOチャレンジプロジェクト事業（生環）60万円
- ⑥ **【連携】** 関係人口1000万人協働促進事業のうちワカモノ活動推進472万円の内数

Ⅲ **（新）** 子どものウェルビーイング調査150万円*

直接の結果（アウトプット）

- I ① 県内外高校生対象の大規模大会1回、500名
 ・子ども、大学生、新社会人、異世代ミックスなどWB指標の状況からターゲットを特定→テーマ別の大会3回程度、計500名程度
 ※企画・運営に生徒等も参画
- ② コミュニティイベント5回
- ③ 絵本配布 学校等2000冊想定
- ④ 応募者500名想定
 絵手紙教室2回、表彰式・トークイベント1回 300名程度

（連携）WBの視点から成果等の特設サイトで発信

- II ① コンソ提案事業2件、学生等30名程度参加
- ② 事前セミナー2回×20名、起業体験プログラム（マルシェ）4校
- ③ 高校生20名程度
- ④ 交流会1回
 NPO・大学生90名程度
- ⑤ 大学生参加 30名程度
- ⑥ 採択5件程度

教委と連携

Ⅲ 小1～中3計1600名予定

*は、若者・子どものつながり実感充実事業

影響・変化（アウトカム～インパクト）

・地域や富山県の良さの再認識、愛着・誇り、つながり醸成（富山県を自信を持って誇れる人の増）
 ・気持ちが明るく・楽しくなる機会の増
 ・多様な居場所の提供

・家族や友達等周囲の人とのつながりの気づき、深まり
 ・他世代・同世代交流の広がり、他者への関心、相互理解

・自分自身を肯定的に捉え、積極的にチャレンジする意欲の向上
 ・若者のチャレンジの場の多様な選択肢を提供
 ・地域や社会に積極的に関与し、貢献できる自己有用感の向上
 ・前向きなチャレンジ、意思決定を周りが尊重し、実現を応援できる環境づくり

・子どものウェルビーイング施策の効果的展開、子どもWB向上

ウェルビーイング向上

つながり（地域／友人）

- ・様々な人との交流、相互理解
- ・地域で前向きな気持ちになる
- ・地域での自己有用感

つながり（富山県）

- ・意見や価値観を理解・尊重する環境づくり
- ・期待や楽しみ、ワクワクする気持ち
- ・自然や食、文化等への愛着・誇り

生きがい・希望

- ・目標を持ちチャレンジする心
- ・やりがい・生きがいの実感
- ・楽しみ、ワクワク感の向上

・若者が自発的・主体的に地域・人を紡ぎ・広げる活動が展開されている
 ・そうした活動を、周りが後押し・協力できている

1 - ② 就職期の女性に選ばれ、女性が活躍できる環境づくりの推進

ありたい姿・
実現したい未来

- ・県外に出ても富山県とのつながりを維持し、就職先の選択肢に県内企業が入っていること。
- ・若者（特に女性）がやりがいをもって活躍できる企業がたくさんあり、若者がそれを認知していること。

課題

- ・就職期の20～24歳の女性の転出が顕著
- ・ウェルビーイングは、10代女性は相対的に高いものの、20代女性は、職場・学校とのつながり、生きがい・希望実感が低い状況
- ・企業が若者（Z世代）の価値観の変化に対応できていない。

背景・現状

- 社会減(R5)
15-34歳：女△512、男△276
うち20-24歳：女△304、男208
- ウェルビーイング指標
・生きがい・希望実感（男/女）
15～19歳 3.23 (3.23/3.25)
20～29歳 2.79 (2.91/2.72)
・つながり（職場・学校）（男/女）
15～19歳 3.32 (3.32/3.33)
20～29歳 2.85 (2.90/2.81)
・つながり（富山県）（男/女）
15～19歳 3.13 (3.11/3.15)
20～29歳 2.76 (2.80/2.74)
- 県外で就職等した学生が企業を選ぶ際に重視したこと(R4)
・やりがいのある仕事ができそう
女性53.6% > 男性46.1%
・賃金が高いこと
女性30.0% < 男性38.2%

対象

中高生、大学生（県内・外） ※特に女性

実施事業
（インプット）

- I 中高生と“働きがいのある”県内企業との「つながり」創出**
- ① **新**「中高生×富山で働く女性」交流促進事業 350万円
- II 女性が活躍できる環境整備**
- ② **拡**企業成長×女性活躍プロジェクト推進事業 790万円
 - ③ **新**働き方改革・女性活躍サポート事業 550万円
 - ④ **新**アンコンシャス・バイアス気づき発信事業 595万円
- III UIJ・Tターン就職支援**
- ① **新**【連携】「就活ラインとやま」情報発信強化事業（商労） 1,700万円
 - ② **新**【連携】学生と企業の交流強化事業（商労） 640万円
 - ③ **拡**【連携】とやま移住魅力発信・強化事業（地創） 2,200万円

直接の結果
（アウトプット）

- I～IIIの事業による巻き込み効果**
中高生8,000名、大学生等7,500名
企業数1,000社
- I ①-1:交流会3地区・60名
SNS発信等による全校周知
 - ①-2:モデル校2校・300名
学生企画による出前講座、女性社員との座談会、企業訪問など
 - II ②:セミナーWS3回・360社、
(動画配信あり)、コンサル派遣18社
 - II ③:ソフト・ハード補助19社
 - II ④:アンコン解消(地域・企業) 20事例
 - III ①:企業PR動画(3企業×10テーマ)、大学生等へのLINEプッシュ型情報発信(月2～4回)
 - III ②-1:大学生等(1,2年生等)と若手社員との交流会5回・600名
 - III ②-2:県内企業バスツアー 10コース・250名
 - III ③:移住セミナー(オンライン13回)、ベストマッチセミナー(リアル2回)

影響・変化
（アウトカム～インパクト）

- ・中高生の県内企業への関心が高まる。
県内企業で活躍し成長している将来の自分の姿がイメージできる。
県外に進学しても、県内企業への関心を持ち続ける。
- ・県内企業が若者の価値観の変化に対応した職場づくり・就職情報の発信を行う。
- ・学生に“首都圏企業に負けない”県内企業の魅力が正しく伝わり、県内就職につながる。

県内で働く若者

ウェルビーイング向上

現在の10代の高いウェルビーイングを20代になっても維持・向上

生きがい・希望

- ・将来に期待やワクワク感
- ・目標に向かってチャレンジ

つながり（職場・学校）

- ・やりたいこと、目標の実現
- ・職場への愛着、誇りを感じる

つながり（富山県）

- ・富山県で自分が成長できる、夢や目標が実現できる期待感

1 - ③ 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす学びの推進

子どもたちが、基本的な知識・技能とともに探究力や問題発見・解決能力を身につけ、技術革新が急速に進展する社会の中で、多様な価値観を持つ人々と連携・協働しながら、自らの可能性を発揮し未来を切り拓く

ありたい姿・
実現したい未来

課題

- 「将来の夢や目標をもっている子どもの割合」は、全国比較で同程度であるが、**主要6か国との比較「18歳意識調査」**では、**自分の目標、誇れる個性を持っていない子どもが多い**（G7を踏まえたウェルビーイングの向上策が必要）
- 子どもの才能や個性を伸ばす必要があるが、**教員の働き方改革や授業単位の制約から学校内における学習活動での対応では限界がある**

背景・現状

- **全国学力・学習状況調査**
「夢や目標をもつ子ども」の割合
小6 81.2%（全国81.5%）
中3 64.7%（全国66.3%）
- **18歳意識調査**
「目標や方向性がある」60.6%
「人に誇れる個性がある」47.9%
- **能力開発基本調査**
「企業が求めるスキル」の課題解決スキル 32.1%
- **ウェルビーイング指標**
15～19歳平均（学生）
・**生きがい・希望**の「夢に向かってチャレンジしている」**3.31**
・**自分らしさ**の「自分らしくありのままにいられる」**3.44**
・**つながり（学校）**の「自分の夢を実現する場である」**3.36** 等

対象

小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・
特別支援学校で学ぶ子ども

特に

特に中学校・義務教育学校・高等学校における進学や就職を控えた子ども

実施事業
(インプット)

I STEAM教育・課題解決型教育の推進

- ① とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業 2,070万円
- ② 「アートのみちから」事業 140万円
- ③ (新)親子でSTEAM体験事業 120万円
- ④ 令和のとやま型教育推進事業 855万円

II チャレンジする子どもへの支援

- ① (新)アントレプレナーシップ育成支援 145万円
- ② ものづくり人材の育成 300万円

III 多様な人々との連携

- ① 高校オープンイノベーション支援事業 1,035万円
- ② アカデミック・インターンシップ 108万円

IV ウェルビーイング調査(小中学生)

- 【連携】(新)子どものウェルビーイング調査(知政) 150万円

直接の結果
(アウトプット)

I STEAM教育・課題解決型教育の推進

- ①(1) PBL実施校 52校（全県立学校）
〃(2) 合同発表会での発表 16校
- ②(1) 高校生事業参加 20人
〃(2) イベント参加 200人
- ③ イベント参加 100人
- ④(1) 研究委託 全市町村実施
〃(2) 令和のとやま型教育推進研修会 4回開催

II チャレンジする子どもへの支援

- ① アントレプレナーシップ育成に関する取組 15校
- ② 企業・公設試見学会の参加者数 約1,200人

III 多様な人々との連携

- ① 訪問・聞き取り 39校（全県立高校）
- ② 県内5大学・短期大学 全20講座開催、参加 300人

IV ウェルビーイング調査(小中学生)

- ① 小1～中3計1,600名予定

影響・変化
(アウトカム～インパクト)

- ・課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結びつけていく **資質・能力の向上**
- ・子どもたちが自身の可能性を信じて積極的に**チャレンジする意欲の向上**
- ・多様な人々と交流することで、**他者への関心、相互理解が深まる**
- ・就職希望者と企業とのミスマッチがさらに解消されることによる、
 - ① **全国トップクラスの高等学校卒業生の就職率の維持**
 - ② **就業者の卒業後3年以内離職率の減少**

ウェルビーイング向上

生きがい・希望

- ・様々な困難を乗り越える力
- ・目標を持ちチャレンジする心
- ・将来への楽しみ、ワクワク感

自分らしさ

- ・自分の選択や行動は自らの意思で決める
- ・自分らしく、ありのままに

つながり（学校）

- ・学校間や大学など様々な人との交流、相互理解
- ・学校で前向きな気持ちになる
- ・学校に愛着や誇りがある

すべての子どもたちが、学びの場において、豊かな心を身につけ、健やかに成長するとともに、特別な支援が必要な子どもが、自立し、社会参加することを目指す

ありたい姿・実現したい未来

課題

- ・いじめ・不登校ともに増加傾向にあり、子どもが抱える悩み・不安等に加え、家庭等の環境も要因となるなど複雑化
- ・特別支援学級、通級による指導を受ける児童生徒が増加傾向
- ・国連から分離教育を廃止し、障害の有無にかかわらず共に学ぶ「インクルーシブ教育」を進めるよう求められている

背景・現状

- **全国学力・学習状況調査**
「いじめはいけないう事だと思う」小6 97.1%、中3 96.8%
「先生にいつでも相談できる」小6 71.1%、中3 68.9%
- **問題行動調査**
いじめ認知件数 19.6件/千人
不登校児童生徒数 2,675人
- **通級指導児童生徒数** 3,316人
- **ウェルビーイング指標**
15～19歳平均（学生）
・心身の健康の「心は健康と感じている」3.41
・安心・心の余裕の「安らげる場所がある」3.62
・思いやりの「異なる価値観でも尊重している」3.60
・つながり(学校)の「学校での人間関係は良好である」3.57
・生きがい・希望 3.24 等

対象

小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校で学ぶ子ども

特に

発達段階に応じて

実施事業 (インプット)

直接の結果 (アウトプット)

影響・変化 (アウトカム～インパクト)

ウェルビーイング向上

- I いじめ・不登校対策**
- ① ④ SC・SSWの配置 2億4,311万円
 - ② 子どもと親の相談員の配置 235万円
 - ③ ⑤ フリースクール等通所児童生徒への支援 1,197万円
 - ④ 【連携】⑤ こども総合サポートプラザ（仮称）の整備に係る工事等（厚生）1億5,640万円
 - ⑤ 【連携】富山児童相談所の移転改築及び児童心理治療施設の整備（厚生）1億1,849万円
〔R⑤当初・R⑤補正〕
〔学びの場、富山児相、児童心理治療施設合算〕
- II インクルーシブ教育等**
- ① 高・小中巡回指導員の配置 935万円
 - ② ④ SDGsインクルーシブ教育システムの推進 360万円
 - ③ 外国人児童生徒教育の推進 200万円

- I いじめ・不登校対策**
- ① SC相談件数 4万件、SSW相談件数 1,000件
 - ② 配置回数 420回（配置校12校×35回）
 - ③ 支援児童生徒数 160人
 - ④ のべ相談件数（見込）約7,200件（各機関合算）
 - ⑤ 学びの場の学級数 9学級、定員 45人
- II インクルーシブ教育等**
- ① 学校訪問回数 480回
 - ② (1) 特別支援教育コーディネーターリーダー養成数 約40人
" (2) 特別支援教育コーディネーターリーダー研修会 2回開催
" (3) インクルーシブ教育推進フォーラム 1回開催
 - ③ 実践研究モデル校 3校

- ・相談機会が増え、いじめ解消率が上昇
- ・多様な学びの場や居場所が拡がり、不登校児童生徒数が減少
- ・地域の特別支援教育推進の中核となる特別支援教育コーディネーターの資質向上・通常の学級の環境整備充実による、
 - ① 特別支援学級から通常の学級へ学びの場を見直す子どもの増加
 - ② 支援方法を工夫して通常の学級で学び続けられる子どもの増加
- ・障害のある子どもとない子どもが共に学び、他者への関心、相互理解が深まる

心身の健康

・心の状態が健康だと感じる

安心・心の余裕

・心から安らげる場所がある
・明るい気持ちになる

思いやり

・他者への関心、相互理解が深まる

つながり（学校）

・学校での人間関係は良好
・学校で明るい気持ちになることが多い

生きがい・希望

・生きがいを感じられている
・将来への期待、楽しみを持つ

1 - ⑤ 県が保有・保管する史資料へのアクセス向上と積極的な活用促進

【経営管理部】

史資料のデジタル化が進み、ふるさと教育への活用やオープンデータ化を通じ、郷土への理解と愛着が深まっている。

ありたい姿・
実現したい未来

課題

- ウェルビーイング指標
「生きがい・希望」「つながり」など
若い年代ほど高い
- 富山県への愛着
若い年代ほど低い
→若い世代ほど地域やふるさと
が自分を理解し、成長させる
環境だと思ふ反面、それが愛
着につながっていない
- 史資料は十分活用されている
とは言い難い

背景・現状

● ウェルビーイング指標
10～20代平均 > 30代以降
総合実感（現在）6.3
生きがい・希望 3.01
つながり（地域）2.89
つながり（富山県）2.95

● 県政世論調査（R4）
「富山県に愛着がある」の「とても
愛着がある」10代：17.2% <
20代33% < 40代33.8% <
60代40.3% < 70以上42.5%

● 若者の県内定着 86.7%
● 15～29歳社会移動
女性△555、男性△207

対象

10代～20代の若者

特に

教育課程にある、進学期や就職
前の子ども・若者

実施事業
(インプット)

直接の結果
(アウトプット)

影響・変化
(アウトカム～インパクト)

ウェルビーイング向上

I 資料の保全・デジタル化
①(新)マイクロフィルム史料
デジタルデータ化 390万円
②(新)「とやまの歴史」デジタル
ブック化 230万円

※上記に併せて、県施設連携による史
資料データの利用環境向上のための調
査を実施

**II 若者へ史資料のふれあい
体験の場の提供**
①(新)史資料ふれあい体験会
30万円

※親子教室(埋文センター、高志の国文
学館等)、図書委員会(学校図書館)へ
の出前講座を活用し、検索体験などを
実施(生環、教委と連携)

②【連携】(新)ウェルビーイング・
ロゲイニング事業(知政)700万円
③【連携】(新)県立図書館魅力向上
発信事業(教委)うち110万円

I ① デジタルデータ化 (100件
/年) →各施設に出向かなくて
もインターネット上で自由に見ら
れる資料の増加
R4:664件→R8:1,048件

● 県の貴重な記録の保全
I ② ● 中高生がタブレットで県
の歴史を手軽に知り学べる

**II ● 親子教室や出前講座を
通じて児童生徒がデータ
ベースやオープンデータの検
索・活用方法を身に着ける
と同時に、地域の歴史や記
録に関する関心が高まる。**
R5:0件→R6以降:5件

- 地域の歴史や文化を理解し、先人達の努力を知ること
で、自分の住む地域や富山県に
誇りと愛着を持つ
(県外に出ても、ふるさとを応
援する人が増える)
- 先人の生き方への理解を通
して広い視野を獲得し、郷土
の特色を全国や世界に発信で
きる力が養われる
- 地域や社会への積極的な
関与や、貢献を通した
自己有用感の向上
- 史資料の価値を認識し、
保存の重要性の理解が深まる

生きがい・希望

● 自分や地域の未来に期待や
楽しみ、ワクワク感

つながり (地域)

● 先人達の努力の上にある自
分を意識
● 地域で学び、生きる 前向きな
気持ちになる (自己有用感)

つながり (富山県)

● 県(自然・文化・歴史)や先人
達の努力に誇りと愛着を感じる
● 富山県の未来に自分も参画
していく期待感

～地域を“つなぐ”人の交流による幸せ実感の向上～

「とやまグリーンツーリズム」を通じて、県民が県内農山漁村地域における豊かな自然、景観、食、伝統文化など地域資源を活かした体験による「やすらぎ」・「学び」を得る機会が多く生まれている。また、地域間や地域内での人々のつながりが強まっている。

ありたい姿・実現したい未来

課題

○心のゆとりを農村に求める人材と活力低下に悩む地域をマッチングできれば多くの課題解決が期待できる。

課題①

関心のある若者に情報がタイムリーに届いていない

課題②

交流事業の担い手不足

背景・現状

○ウェルビーイング県民意識調査
・富山県で暮らしていて、「幸せ」を感じること (R4) →美しい自然、美味しい食など恵まれた環境に関する回答が多い傾向

・農山漁村地域で暮らしてみたい又は活動してみたいと思うか。(R5)
10代：21.8% 20代：17.4%
30代：14.4%

○中山間地域実態調査 (H30)
・暮らしにおいて困難が生じていること →「後継者の育成・確保(61.2%)」

○ウェルビーイング指標 (10～30代平均)

- ・自分らしさ実感 3.29
- ・思いやり実感 3.39
- ・つながり(家族) 3.48
- ・つながり(地域) 2.78

対象

- ・都市農山漁村交流事業に関心のある県民
- ・都市農山漁村交流事業を行っている県内の法人、団体、個人

特に

10歳代～30歳代の若者

実施事業 (インプット)

直接の結果 (アウトプット)

影響・変化 (アウトカム～インパクト)

ウェルビーイング向上

情報伝達手段の強化

① ①(新) 都市農山漁村交流推進事業 750万円

・情報発信の強化

② ②(新) 都市農村交流アンバサダー事業 450万円

・若者による効果的な広報企画

地域活力の維持・担い手確保

① ①(新) 都市農村交流サクセッサ事業 100万円

・都市農村交流事業を実施する組織の後継者不足解消に向けた現状の調査

② 中山間地域交流スタートアップ支援事業 600万円

・新たに都市農村交流による地域活性化を推進する地域運営体制づくりへの支援

③ 中山間地域保全パートナーシップ推進事業 300万円

・中山間地域の集落と企業等とのマッチングや、「とやま農業・農村サポーター」によるボランティア活動の推進

④【連携】中山間地域チャレンジ支援事業(地創) 1,425万円

・地域活性化に向けて、地域団体等が取り組む試行的活動への支援

交流の活性化

・プラットフォーム構築による県内都市農山漁村交流事業に係る情報へのアクセス性向上

・若者を惹きつける広報展開による農山漁村交流事業の参加者数増 (農林漁業体験者数：R8目標値74,200人)

地域の活性化

・都市農山漁村交流事業を継続する地域や、新たに事業を行う地域の増

・重点地域数の増 (R8目標値：56地域)

・農業・農村サポーター活動参加者数の増 (R8目標値：245人)

・中山間地域における地域運営組織数の増 (R6目標値：60組織)

【若者の変化】

・若者のチャレンジ精神が向上するとともに、他者と交流する機会が多くなる。

・若者が地域や社会に積極的に関与することにより、地域や社会に貢献できる自己有用感が向上する。

【地域の変化】

・農山漁村に訪れる人が増え、リピーターとなった人が、将来的に地域にとって有益な存在(地域活動や交流事業の担い手)となる。

・担い手確保等により、農山漁村の美しい自然・景観・伝統文化が維持されるとともに、地域資源に新たな価値が付与される。(地域の新たな収入源の確保)

自分らしさ

・若者も地域の人々も自分らしく、いきいきと生きる

思いやり

・地域で感謝されることにより、他者のために役立ちたいという思いが高まる

つながり(家族)

・交流事業を通じて家族との時間を過ごし、やすらぎを得る

つながり(地域)

・世代間交流が広がり、他者への関心や相互理解が深まる

・富山の農山漁村の良さを再認識し愛着や誇りが増す

2 “働きがい”と未来への希望を高める、働き盛り世代のウェルビーイング

施策テーマ	とりまとめ部局
① “働きがい”を実感できるウェルビーイング経営の推進	商工労働部
② 県民が富山の自然や食などの幸せの基盤に誇りと愛着を持ち、自分の能力を活かして働くことができる富山県	地方創生局
③ 県内事業者のGX社会への的確な対応による持続可能な成長の実現	知事政策局
④ サーキュラーエコノミー（循環経済）の推進によるものづくり産業の新たな価値の創造	商工労働部
⑤ 県職員のエンゲージメント・ウェルビーイング向上による質の高い行政サービスの持続的な提供	経営管理部
⑥ 公金・会計事務のデジタル化による行政サービス向上と県庁の業務改革との好循環創出	出納局

2 “働きがい”と未来への希望を高める、働き盛り世代のウェルビーイング 関連指標等

30～59歳の働いている方※のウェルビーイング指標の状況

※「会社・団体等の役員」+「正規（雇用期間の定めなく雇われている）従業員・職員」+「パートアルバイト、契約・派遣社員、家庭内での賃仕事（内職）」+「自営業主：「自営業主（自営業を手伝う家族従事者含む）」

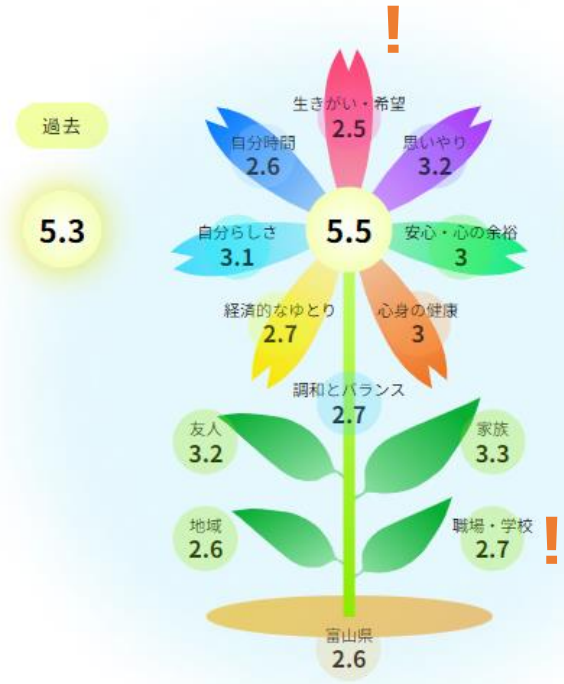
（参考）産業大分類別従業者数
 1 製造業：13.1万人（25.8%）
 2 卸・小売業：9.1万人（18.0%）
 （令和3年経済センサス-活動調査）

30～59歳の働く方	なないろ指標（抜粋） 4段階（1～4）				
	生きがい・希望	①やりがい・生きがい	②困難を乗り越えられる	③夢や目標にチャレンジ	④将来に期待、楽しみ
30～59歳	2.52	2.67	2.75	2.38	2.29
30～39歳	2.57	2.69	2.80	2.40	2.40
40～49歳	2.51	2.68	2.75	2.35	2.27
50～59歳	2.48	2.63	2.71	2.37	2.21
（参考）製造業	2.37	2.55	2.62	2.20	2.10
（参考）卸・小売業	2.39	2.53	2.61	2.25	2.16

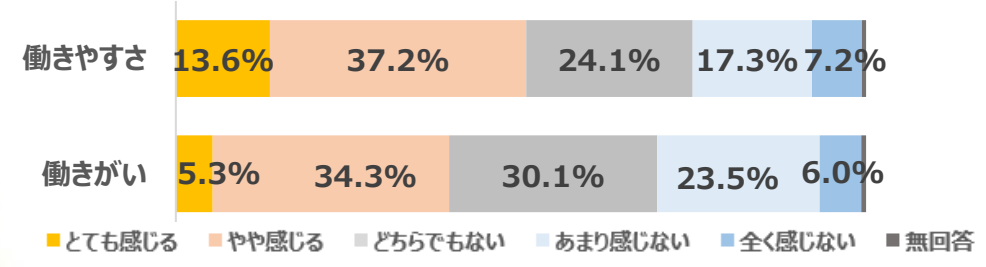
職場・学校等	つながり指標（抜粋） 4段階（1～4）			
	①関係良好	②楽しい、嬉しい	③愛着や誇り	④夢や目標実現可能
	2.69	3.06	2.62	2.65
	2.68	3.12	2.66	2.58
	2.68	3.02	2.61	2.67
	2.69	3.05	2.60	2.70
	2.48	2.95	2.49	2.34
	2.54	2.90	2.43	2.25

総合指標（抜粋） 11段階	
現在	未来
5.64	5.55
5.81	5.86
5.57	5.49
5.52	5.28
5.46	5.29
5.42	5.25

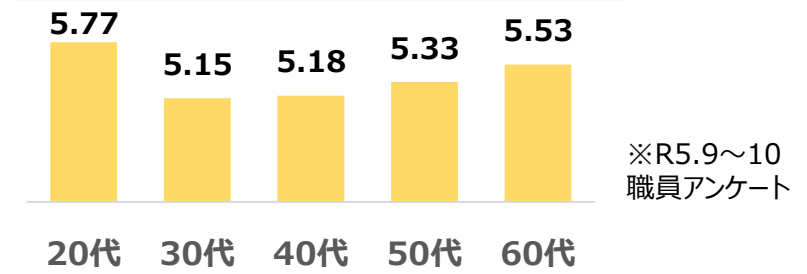
（参考）30～59歳（全体）のウェルビーイング指標の状況



働きやすさと働きがい ※30～59歳の働いている方



県職員の状況（総合実感（現在））



指標の状況を踏まえた施策の方向性

- ◆ “働きがい”の実感やエンゲージメントが高まり、経営者・従業者のウェルビーイング向上と、企業・産業の成長や魅力向上との好循環を生み出す取組み
- ◆ 社会情勢の変化に適応し、更なる発展や社会貢献への希望を持つことができる取組み
- ◆ 質の高い行政サービス提供に繋がる、県職員のウェルビーイング・エンゲージメント向上

2 - ① “働きがい”を実感できるウェルビーイング経営の推進

経営者及び従業員が“働きがい”を実感し、自社へのエンゲージメントを高めるとともに、その活動に社会の共感が得られ、経済社会が活性化する好循環が生まれていること

ありたい姿・
実現したい未来
課題

- 将来的な人口減少に伴い、人材確保がより困難。
 - 生産年齢人口の主流を占めるミレニウム世代・Z世代への訴求が不可欠。
 - 「知行合一」*を実践することの難しさ。
- *知識と行動は一体であり、知識は行動を伴うこと

背景・現状

- **ウェルビーイング指標**
 ※働き盛り世代 → 30～50代で働いている方
 全体：その他年齢層も含む
- **生きがい・希望**
 働き盛り世代 2. 5 2
 全体 2. 5 7
- **つながり（職場等）全体**
 働き盛り世代 2. 6 9
 全体 2. 7 4
- **うち、職場等への愛着・誇り**
 働き盛り世代 2. 6 5
 全体 2. 6 9
- **熱意ある社員の割合**
 (Gallup「エンゲージメント・サーベイ2017」)
 日本6%、世界平均15%

対象 **働き盛り世代（30～50代）の経営者及び従業員**

まずは **従業員数が少ない企業の経営者及び従業員**

実施事業
(インプット)

直接の結果
(アウトプット)

影響・変化
(アウトカム～インパクト)

【ステップ1】経営者の変革

- **【新】**ウェルビーイング経営推進事業 100万円
- **【連携】**【拡】「健康経営」普及支援事業（厚生） 130万円
- **【連携】**【新】とやま健眠普及啓発事業（厚生） 80万円
- ※このほか、「栄養秘書（弁当を通した経営者の栄養管理）」実証実験や睡眠改善の働きかけを実施
- **【ステップ2】従業員の内発的動機**
- **【連携】**【新】働き方改革・女性活躍サポート事業（知政）550万円
- とやま人材リスキリング補助金 1,200万円（R◎11月補正）
- ※このほか、社会貢献情報の県公式SNSへの掲載や、企業主導型両親学級（育児不安や産後鬱防止のセミナー）の紹介を実施
- **【連携】**【新】ウェルビーイング経営実態調査・分析事業（知政）500万円

【ステップ1】

- WB経営フォーラム 参加者130名程度/年
- 健康経営 とやま健康企業宣言事業所数の増加
- 実証実験の働きかけ モニター 3社

【ステップ2】

- 働き方改革・女性活躍サポート補助金 19件/年
- とやま人材リスキリング補助金 170件/年
- 社会貢献情報の県公式SNSへの掲載 20回/年
- 両親学級の紹介 協賛企業 約25社/年
- 県内企業 200社程度想定

- ありたい姿を実現するためには、**経営者自身が変革**した上で、経営者が自らが「知行合一」を実践。
- その上で、経営者と**縁があつて入社した従業員**が一体となって理念を語ることで**従業員の内発的動機**を引き出し、**チャレンジ精神**を許容する経営、又は**働きがいを最大限**に引き出す経営が増加。

- また、企業が社会に**貢献**することにより、ミレニウム世代・Z世代の**共感**を高める経営が増加。

- この展開により、企業に対する**共感**が生まれ、収益拡大や人材確保などの**好循環**が生まれている経済社会を構築。

ウェルビーイング向上

生きがい・希望

- 自社の経営理念を再認識したうえで、従業員が自社のファンになること
- 将来への期待感向上

つながり（職場）

- 社会貢献活動を通じて地域課題の解決に取り組むマインドの高まり

2-② 県民が富山の自然や食などの幸せの基盤に誇りと愛着を持ち、自分の能力を活かして働くことができる富山県 【地方創生局】

ありたい姿・
実現したい未来

富山の魅力に愛着や誇りを持つ県民が、自分の能力を活かしていきいきと働くことができる未来

課題

・富山の自然・食・歴史・文化等の価値に気付く県民は多いが、**県内の観光資源を活かしたビジネスに繋がっていない。**
 ・富山県は「ものづくり県」であり、若者（特に若い女性）が専門性・柔軟性など自分の能力を活かして働ける場が少ない。
 ・10代では相対的に高い「生きがい・希望」、「つながり（富山県）」等のウェルビーイング指標が、20代から40代にかけて次第に低下する傾向。

背景・現状

・15～34歳社会移動（R4）
 男性△102人、女性△913人
 ・**ウェルビーイング意識調査、指標**
 「富山県ならではの自然や食、文化等に愛着や誇りがある。」へのポジティブな回答 **78.5%**
 ・「自分らしくいられる」、「自分が行っていることにやりがいを感じる」、「夢や目標に向かってチャレンジや努力をしている」、「将来に期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある」などの「**自分らしさ**」、「**生きがい・希望**」等のウェルビーイング指標が20代、30代と低下しており、10代と20代以降の幸せの実感に大きな差が存在。

対象

自然・歴史・文化・食等に恵まれた富山での上質な暮らしに愛着や誇りを持つ20代～40代の県民

特に

富山の魅力を自分の能力を活かしたビジネスに繋がっていきいたいと考えている20代～40代の県民（特に女性）

実施事業 (インプット)

- 1 専門性・柔軟性を活かしていきいきと働くことができる人的基盤の拡大**
 - ① **新** トラベルデザイナー実践事業 100万円
 - ② とやま観光塾 2,310万円
- 2 富山での上質な暮らしの価値を理解する観光客の誘客**
 - ① 「富山week in LONDON」プロモーション事業 2,500万円
 - ② 欧米豪観光客誘致基盤体制強化事業 1,700万円
 - ③ **新** 国内ランドオペレーター向け誘客推進事業 310万円

直接の結果 (アウトプット)

- 1 専門性・柔軟性を活かしていきいきと働くことができる人的基盤の拡大**
 - ① : ツアーデザインが可能な人材を発掘・育成 3名
 - ② : 観光地域づくりの中核人材・観光ガイド等の育成 20名
- 2 富山での上質な暮らしの価値を理解する観光客の誘客**
 - ① : 英国でのプロモーション 欧州旅行会社による富山への送客
 - ② : 欧州旅行会社へのセールス（英仏など） 欧州旅行会社の招聘 計3回
 - ③ : 3大都市圏ランドオペレーターへのセールス 計3回 県内への招聘 計3回

影響・変化 (アウトカム～インパクト)

- ・専門性・柔軟性など自分の能力を活かしていきいきと働けることで、やりがいの充実、**自己肯定感の向上**
- ・人的基盤の拡大により周囲に良い影響を与えることでさらなる人材確保・育成に繋がる**好循環**へ
- ・知的好奇心旺盛で富山での上質な暮らしの価値を理解する観光客の誘客により、富山の**認知度・評価が向上**。富山への**愛着や誇り**に繋がる。
- ・富山での暮らしに対する**幸せの実感向上**

ウェルビーイング向上

生きがい・希望

- ・富山での暮らしへの**幸せ実感の向上**
- ・やりがいの**充実**
- ・夢・目標を**実現可能な環境**
- ・将来への**期待・楽しみ**の向上

自分らしさ

- ・専門性・柔軟性などの能力を活かして自分らしくいきいきと働くことによる**自己肯定感の向上**

つながり（富山県）

- ・富山県での生活への**愛着・誇り**
- ・周囲への**好影響**

2 - ③ 県内事業者のGX社会への適確な対応による持続可能な成長の実現

県内事業者がGX（グリーントランスフォーメーション※）社会への進展に適確に対応し、脱炭素経営に移行することで、従業員が経済的なゆとりや未来へのワクワクを実感している。 ※温室効果ガス排出削減と産業競争力向上の両立に向けた経済社会システム全体の変革

ありたい姿・実現したい未来

課題

- 温室効果ガス排出量の把握・削減が必須
 - ・未対応なら取引停止リスク（サプライチェーンから排除など）
- 対応の必要性は認識するが、実践に結びつかない事業者も
 - いつか取り組まなきゃいけない。でも、何から始めたらいいのかわからない。
- GX推進が事業の発展・成長に

背景・現状

- 国内外：
 - ・脱炭素経営への移行加速
 - ・排出量取引制度（R8～）
 - ・化石燃料賦課金（R10～）
 - ⇒ 排出量に応じて負担増
 - 大手企業：
 - ・排出量・目標の情報開示が義務化（R4.4）
 - ・自社排出分（スコプ1・2）に加え、取引先排出分（スコプ3）も対象に
- R5ウェルビーイング県民意識調査**

・つながり（富山県）
富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある
⇒ 働き盛り世代（30～50代）：
2.15～2.22 ※全世界で最も低い

・生きがい・希望 実感
・経済的なゆとり 実感
・安心・心の余裕 実感
⇒ 総じて、働き盛り世代の数値が低い

対象

GX対応に不安感を持つ事業者、その従業員（製造業、サービス業、農林水産業等の幅広い業種）

特に

GX社会で働き盛りを迎える現在20～40代の者

実施事業（インプット）

- 幅広い業種のGX推進を支援**
 - 新 富山型GX推進事業 300万円
幅広い業種を対象に、若手担当者同士の意見交換により、取組手引書を共同作成・配布
 - 持続可能な成長への包括的アプローチ（関連事業）**
 - GX（グリーントランスフォーメーション）
～温室効果ガスの排出削減と成長～
[多排出業種の中小企業を集中支援]
・[連携] 新 中小企業カーボンニュートラルチャレンジ事業（生環） 100万円
・[連携] 旧 脱炭素化モデル中小企業育成事業（商労） 4,664万円
 - CE（サーキュラーエコノミー）
～資源（マテリアル）の循環利用と成長～
・[連携] 新 ものづくり産業サーキュラーエコノミー推進事業（商労） 1,600万円
・[連携] 新 プラスチック資源循環促進事業（生環） 300万円
 - デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）
～ライフスタイル転換による需要創出と成長～
・[連携] 旧 やま環境未来チャレンジ事業（生環） 950万円
・[連携] 新 食ロスゼロアクション推進事業（生環） 400万円
-

直接の結果（アウトプット）

- 県内事業者が持続的に成長**
県内事業者が取引先事業者や消費者から選ばれる存在に
- GX対応への機運醸成**
意見交換の参加者60～70名
・若手担当者同士の横連携
・企業の意識変革
⇒ さらなる実践者の増加に
 ここから取り組めばいいのかわからない！ なるほど！我が社も始めよう！
- 脱炭素経営への移行が加速**
 - ① 必要性を認識（未対応のリスク等）
 - ② 排出量の把握・見える化（自社排出分、取引先排出分等）
 - ③ 目標設定・削減実施（省エネ機器導入、再エネ導入等）
 - ④ 情報開示（国際評価基準の認証等）

影響・変化（アウトカム～インパクト）

- 働き盛り世代がワクワクする未来に**
 - ・富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする者の増加
 - ・自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じる者の増加
- 安定経営で従業員満足度の向上**
従業員の収入・安心感の向上
- 本県の地域住民所得※1**

[現状]	⇒ [目標]
455.1万円/人 (2020年度)	全国平均以上の伸び率 (2030年度)
- 取組実践事業者の割合**

[現状]	⇒ [目標]
58% (2023年10月)	100% (2030年度)※2
- 国際評価基準認証等の事業者数**

[現状]	⇒ [目標]
TCFD※3: 19社	100社 (2030年度)
SBT※4: 16社	(2030年度)
- 産業部門排出量の削減率（2013年度比）**

[現状]	⇒ [目標]
▲30.8% (2020年度)	▲50% (2030年度)※2

働き方と経済の好循環

ウェルビーイング向上

つながり（富山県）

・富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある

生きがい・希望

・自分が行っていることに、やりがい・生きがいを感じている
・様々な困難があっても、乗り越えていくことができると感じている

経済的なゆとり

・生活に必要な所得や資産がある
・自分のしたいことをする、または欲しい物を買える経済的なゆとりがある

安心・心の余裕

・現在置かれている立場・地位に満足を感じている
・楽しい、うれしい、面白いなど(ポジティブな)明るい気持ちになることが多い

※1 出典：環境省・DBJ価値総合研究所「地域経済循環分析」2018年版）
 ※2 出典：富山県カーボンニュートラル戦略（2023年3月策定）
 ※3 TCFD：金融安定理事会により設立された気候関連財務情報開示タスクフォース
 ※4 SBT：パリ協定に整合する削減目標設定を働きかけ、審査・認定を行う国際機関

2-④ サークュラーエコノミー（循環経済）の推進によるものづくり産業の新たな価値の創造【商工労働部】

ありたい姿・
実現したい未来

富山県のものづくり産業が、国内外の成長が期待されるサーキュラーエコノミーの分野で新たな付加価値を創造し、その活動の見える化による社会の共感と、働く人の経済的なゆとりが生まれていること。

課題

- ・ものづくり産業の新たな付加価値の創造による持続的な成長と発展が必要
- ・「製造業」従事者のウェルビーイング指標の向上
→生きがいや、希望、社会とのつながり実感向上への取り組みが必要
- ・限られた資源の有効な活用とカーボンニュートラルの推進

背景・現状

- ・製造業従業者 1人あたりの付加価値額R3: 1,157万円
※県成長戦略KPI：製造業における付加価値率の全国上位を実現
- ・**ウェルビーイング指標（製造業）**
生きがい・希望実感 (将来に期待 や楽しみ) **2.18**
経済的なゆとり **2.64**
つながり(職場)(愛着や誇り) **2.37**
つながり(地域) **2.59**
つながり(富山県) **2.57**
- ・廃棄物の循環 廃プラスチック類の最終処分率 32.7%
(2025年目標30%以下)
- ・就職活動を終了した学生が就職先企業に決めた理由 (全国)
1位 社会貢献度が高い 34.3%
2位 給与・待遇が良い 27.4%
3位 将来性がある 27.0%

対象

ものづくり産業で働く方々

特に

次世代を担う40代以下の若年層

実施事業 (インプット)

- 1 ものづくり産業の連携促進と技術開発支援**
 - ① **(新)**ものづくり産業サーキュラーエコノミー推進事業 1,600万円
 - ② **(拡)**アルミ産業成長力強化戦略推進事業 5,207万円
- 2 再エネ活用の推進**
 - (新)** 県有地への企業誘致戦略調査事業 1,500万円
【連携】森林J-クレジット（農水）、県営水力発電（企業）、小水力発電開発等の推進
- 3 リサイクルルートの確立**
 - 【連携】**(新)** プラスチック資源循環促進事業（生環） 300万円
- 4 消費者の意識変容と連携促進**
 - ①【連携】富山県SDGs宣言フォーラム・ワークショップ（知政） 355万円
 - ②【連携】**(新)** デコ活参加促進キャンペーン事業（生環） 1,000万円

直接の結果 (アウトプット)

- 製品開発による新たな価値の創出と情報発信
 - ①専任コーディネーターによる産学官企業間ネットワークの形成支援
クリエイティブ人材活用による異業種連携促進のカンファレンス（廃材活用等の新素材創出等）
- 企業連携によるアルミバリューチェーンの構築
- クリーンエネルギー等の使用による県内企業の魅力向上、企業誘致のインセンティブの向上
- プラ排出事業者とリサイクラー、製造業のマッチング（3件程度）
- ④ **ものづくり産業と各宣言企業との連携促進、連携を通じた循環配慮製品のPR**
 - ②デコ活の認知度が50%に向上など
 - 関係企業の連携ネットワーク形成
 - 社会全体や一般県民の気運醸成

影響・変化 (アウトカム～インパクト)

資源の循環利用など、本県企業におけるサーキュラーエコノミーの取組を可視化することにより、環境に配慮して経済活動に取り組む各企業の魅力が向上し、住民や社会からの評価が高まる

- ・産学官の連携や企業間連携による新しいビジネスモデルの創出と市場開拓により経済成長を促進
- ・クリーンエネルギー等の自然資源の有効活用と技術革新を促し、環境に優しい企業活動を促進
- ・廃棄物の削減、リサイクル等を通じて脱炭素に貢献
- ・サーキュラーエコノミーへの取組みが企業の経営目標として定着することにより、環境や社会課題に敏感な若者に、就職先として 選ばれる魅力が向上
- ・地域の取組みや経済成長が促され、シビックプライドが向上

ウェルビーイング向上

生きがい・希望

- ・社会に貢献し、働き甲斐のある仕事をしている実感
- ・成長産業で働く将来への希望の実感

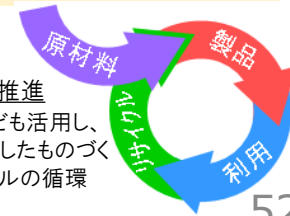
経済的なゆとり

- ・所得の増加によるゆとり実感

つながり（富山県/職場）

- ・地域とつながっていることを実感
- ・愛着や誇りがある
- ・自分の夢や目標を実現できる場である

ものづくり産業におけるサーキュラーエコノミー推進
再生可能エネルギーなども活用し、原材料の「入力」を抑制したものとづくりと消費、廃棄、リサイクルの循環



2-⑤ 県職員のエンゲージメント・ウェルビーイング向上による質の高い行政サービスの持続的な提供【経営管理部】

職員ひとり一人が自己効力感と成長を感じながらやりがいを持って業務に取り組み、質の高い行政サービスを提供できる。

ありたい姿・
実現したい未来

課題

- ・人口減少により、優秀な人材の確保が困難。人手不足。
- ・若手・中堅県職員のエンゲージメントとウェルビーイングが低い。
- ・ライフプランや価値観の多様化により、県職員の離職が増加。
- ・社会情勢の変化により、行政課題が複雑化・高度化。
- ・県職員ひとり一人が能力を発揮できるよう人材の育成が急務。

背景・現状

・職員アンケート(R5.秋実施)勤続年数6～20年のエンゲージメントが低い。

勤続年数	6～10	11～15	16～20	全体
エンゲージメント	2.36	2.06	2.30	2.52
ウェルビーイング	5.41	4.81	5.02	5.36

県職員としての今後のキャリアビジョンを持っていない職員が65.4%

・ウェルビーイング指標

つながり（職場/目標実現）

県職員/20代2.51、30代2.31

自分時間の充実

県職員/20代3.24、30代2.66

生きがい・希望（将来期待）

県職員/20代2.52、30代2.31

県職員、県民や県内事業者

特に

やりがいを感じにくい若手・中堅職員、
県職員と接する機会の多い県民等

実施事業 (インプット)

直接の結果 (アウトプット)

影響・変化 (アウトカム～インパクト)

ウェルビーイング向上

R⑤人材育成・確保基本方針、 職員行動指針の策定

1 職員の「キャリアデザイン」に応じた職員研修の見直し・充実

- ① 職員研修所の移転整備 1億1,380万円
- ② 職員研修実施計画の見直し 279万円
- ③ キャリア相談室を開設 111万円

〔キャリアコーディネーター及び
キャリアコンサルタント設置〕

2 仕事と家庭の両立支援 (男性育休のさらなる促進)

- ① 県庁男性職員育休取得促進事業 661万円

3 職員のモチベーション向上

- ① チャレンジコンテスト事業 300万円
- ② 執務環境改善事業 1億8,000万円

1 キャリア開発支援の拡充

- ・人材育成・確保基本方針を踏まえ、「与えられる人材育成」から、「自ら描くキャリア形成」へ
- ・キャリア形成研修の拡充・新設
- ・職員研修所とキャリア相談室を統合する「職員キャリア開発支援センター」を新設し、支援体制を強化

2 仕事と家庭の両立支援

- ・男性の育児休業取得率（一般行政・公営企業部門）
R④48.1%→R⑦85%
- ・管理職の女性割合
R⑤18.8%→R⑦25%以上

3 職員のモチベーション向上

- ・チャレンジコンテスト
1提案150万以内、年1～2件採択
- ・モデルオフィスの整備（2室）
本庁の複数の室課が交替でモデルオフィスを体験

県職員のエンゲージメント・ウェルビーイングが向上する。

1 県職員にとって

- ・職員が仕事のやりがい、自己成長を実感し、モチベーションの向上やチャレンジする組織文化が醸成
- ・やりがいのある働きやすい職場の実現により、優秀な人材に選ばれる職場となり、持続可能な行政サービスの提供体制が構築される
- ・人手不足の解消につながり、職員の自分時間の充実、仕事と家庭の両立等ワークインライフが促進

2 県民の皆さんにとって

- ・県職員の成長とやりがいの向上は、多様な行政課題への対応力強化につながる
- ・現場主義、県民目線、スピード重視が徹底された、ワンチームの組織力により、質の高い行政サービスを提供していく

つながり（職場）

- ・自分の夢や目標を実現できる環境が整っている
- ・良好な人間関係も含め、ポジティブな明るい気持ちになる
- ・職場に愛着や誇りを持てる

自分時間の充実

- ・自分の自由な時間ができ、心に余裕が持てる

生きがい・希望

- ・将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている
- ・やりがい・生きがいを感じている
- ・夢や目標に向かって、チャレンジや努力している

2 - ⑥ 公金・会計事務のデジタル化による行政サービス向上と県庁の業務改革との好循環創出

フロントヤードとバックヤードのデジタル化により、行政サービスの向上と県庁の業務改革を併せて実現することで、職員は、きめ細やかな対応が必要な相談業務やより創意工夫が必要な行政課題への対応に注力できる。結果として、質の高いサービス提供が可能となる好循環が創出される。

ありたい姿・実現したい未来

課題

- ・事業者や金融機関等から、行政手続き・公金事務の効率化・電子化が求められている
- ・県庁全体で欠員が生じ、公金・会計事務について、会計年度任用職員等に頼る面もある。
- ・見直しは、影響範囲が広いことから、計画的に取り組む必要がある。
- ・一方で、デジタルデバйд対策を進めることは重要。

背景・現状

- ・行政手続き電子申請対応手続き数 : 3,477/5,752手続き
- ・電子納付対応手続き数 : 211/865手続き
- ・R5臨時的任用職員募集数32人

ウェルビーイング指標

つながり (職場/目標実現)

正規等/20代2.36、30代2.32
県職員/20代2.51、30代2.31

自分時間の充実

正規等/20代3.16、30代2.59
県職員/20代3.24、30代2.66

生きがい・希望 (将来期待)

正規等/20代2.55、30代2.36
県職員/20代2.52、30代2.31

※正規等…正規職員・従業員+パート、アルバイト、契約・派遣社員

対象

○県民・事業者 (納付者等) ○金融機関 ○県職員

特に

企業の経理担当者
金融機関の窓口業務従事者
若手県職員

実施事業 (インプット)

- 1 公金事務のデジタル化推進
 - ① 電子申請・電子納付の推進、利用率向上の取組み
 - ② (新) 収入証紙制度の見直しに伴うキャッシュレス端末の導入 (県警と共同実施) 888万円 ※R6~11債務負担行為 2,849万円
 - ③ 収入証紙制度の廃止
 - ④ 公金のeLTAX活用 (税外の公金への拡大等)
- 2 会計事務のデジタル化推進
 - ① (新) 会計年度任用職員人事給与システムの導入事業 6,270万円 ※R6~10債務負担行為 2億3,100万円 (R5.11補)
 - ② (拡) AI-OCR・RPAによる会計事務自動化事業 ・出先での支払書類自動作成 800万円

直接の結果 (アウトプット)

- 1 公金事務のデジタル化推進
 - ① R7年度末までに原則、電子化
 - ② 県内20か所に23台設置 R7.8運用開始予定
 - ③ 年間80万~90万件 R7.9.30廃止予定
 - ④ 公金のeLTAX活用 遅くともR8.9までに開始 対象件数: 約3.1万件
- 2 会計事務のデジタル化推進
 - ① 会計年度任用職員人事給与システム導入 知事部局・教委・県警・企業局・中央病院に導入 対象者数: 約2,700人
 - ② AI-OCR・RPAによる会計事務の自動化 対象件数: 約10万件

影響・変化 (アウトカム~インパクト)

- 県民や事業者、金融機関
行政手続きや窓口業務が効率化され、負担が軽減されているほか、利便性向上やコスト削減、人手不足解消にも寄与している。
- 県職員
事務が効率化され、生産性が向上しているほか、将来的な事務負担軽減への期待感が増し、**働きがい・自分時間の充実**等希望が持てる。

ウェルビーイング向上

つながり (職場)

- ・自分の夢や目標を実現できる環境が整っている
- ・良好な人間関係も含め、ポジティブな明るい気持ちになる
- ・職場に愛着や誇りを持てる

自分時間の充実

- ・自分の自由な時間ができ、心に余裕が持てる

生きがい・希望

- ・将来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちを感じている
- ・やりがい・生きがいを感じている
- ・夢や目標に向かって、チャレンジや努力している

3 “共助”で支え・高め合うウェルビーイングの輪の広がり

施策テーマ	とりまとめ部局
①地域防災力向上による安全・安心実感の充実	危機管理局
②支え・支えられる共助社会の実現	厚生部
③高齢者が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して過ごすことのできる環境づくり	警察本部
④デジタル変革で紡ぐワクワクする富山県づくり	知事政策局

3 “共助”で支え・高め合うウェルビーイングの輪の広がり

関連指標等

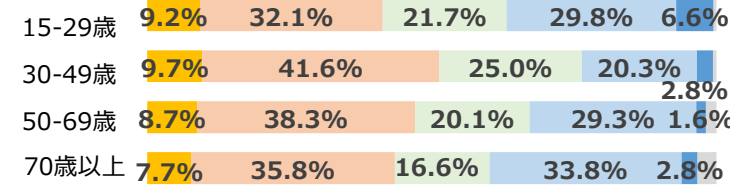
各年代のウェルビーイング指標の状況

なないろ指標 (抜粋) 4段階 (1~4)

	安心・心の余裕				生きがい・希望			思いやり		
	①住まい 快適・安全・安心	②心から 安らげる 場所	③立場・ 地位に満 足	④明る い 気持ち	①やりが い・生きが い	②困難を 乗り越え られる	②喜ばせ たい楽し ませたい	③親切な 対応や手 助け		
10~20代	3.34	3.47	3.53	3.13	3.01	3.15	3.04	3.47	3.36	3.44
30~40代	2.98	3.16	3.26	2.64	2.52	2.67	2.75	3.21	3.13	3.20
50~60代	2.92	3.00	3.12	2.79	2.49	2.63	2.73	3.08	2.95	3.06
70代以上	2.96	3.03	3.14	2.90	2.51	2.70	2.77	3.02	2.84	2.96

地域や住まいの安全・安心について (R5ウェルビーイング県民意識調査)

生活する地域に、防犯や防災、事故防止上不安な箇所があると感じますか。



つながり指標 (抜粋) 4段階 (1~4)

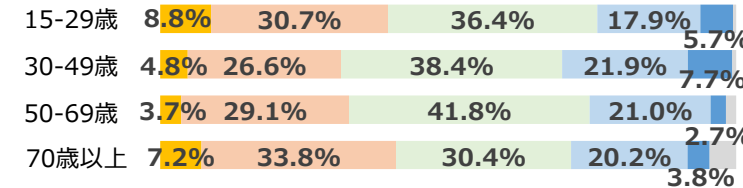
	地域				富山県			
	①関係良 好	②助けて くれる	③楽しい、 嬉しい場 所・機会	④意見、 価値観理 解・尊重	①ア防 災・防犯 不安なし	①イ医 療・福祉 不安なし	⑤未来に 期待、楽 しみ	
10~20代	2.89	3.14	2.88	2.61	2.95	3.21	3.15	2.56
30~40代	2.58	2.94	2.61	2.24	2.58	2.85	2.72	2.18
50~60代	2.66	2.98	2.73	2.29	2.62	2.85	2.75	2.23
70代以上	2.85	3.17	2.88	2.49	2.74	2.95	2.92	2.38

総合指標 (抜粋) 11段階 (0~10)

	現在	未来
10~20代	6.30	6.71
30~40代	5.60	5.62
50~60代	5.46	5.10
70代以上	5.58	4.72

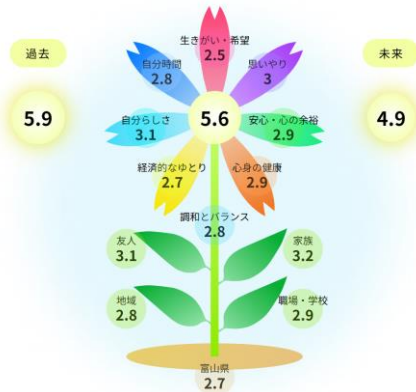
■ 1 とても感じる ■ 2 やや感じる
■ 3 どちらでもない ■ 4 あまり感じない
■ 5 全く感じない ■ 無回答

あなた自身や周りの人の安全・安心の実感向上のため、地域での見守りや防犯・防災活動等の取組みを積極的に実施したいと思いますか。



■ 1 とても思う ■ 2 やや思う
■ 3 どちらでもない ■ 4 あまり思わない
■ 5 全く思わない ■ 無回答

(参考) 60歳以上 (全体) のウェルビーイング指標の状況



指標の状況を踏まえた施策の方向性

- ◆ 他者への**思いやり**が連鎖し、**安心・安全な実感**を皆で相互に**支え・高め合う**意識・行動の後押し
- ◆ 県民が抱える様々な困りごと（社会課題）の解決に向け、県民が、自らの**能力・技術、意欲、経験、立場を活かして助け合うこと**ができる**機会・環境**づくり
- ◆ **共助**の取組み自体に、**生きがい**や**希望**を感じられる取組み

3 - ① 地域防災力向上による安全・安心実感の充実

県民が多様な形で地域防災活動に参加することにより、安全・安心実感が充実している。

ありたい姿・実現したい未来

課題

対象

特に

消防団や自主防災組織、災害ボランティア団体で活動する人

防災に不安を感じるが、防災活動に関与出来ていない県民

・「公助」の充実に努めるとともに、地域住民の自発的な避難誘導など「共助」の取組みも重要。

・各自の実情に応じて選択・参加できるよう、様々な防災活動の周知及び働きかけが必要。

・地域防災の要である消防団員は減少している。

実施事業 (インプット)

直接の結果 (アウトプット)

影響・変化 (アウトカム～インパクト)

ウェルビーイング向上

I ④ 消防団充実強化推進事業 500万円
・うち ⑤ 機能別団員加入促進支援等

II 防災士養成事業 1,308万円
・うち ⑥ 防災士スキルアップ研修

III ④ 地域防災力向上支援事業 3,000万円
※見直し内容
自主防災組織の活性化
・研修等の開催支援
・地区計画策定の支援

IV【連携】 ④ 災害救援ボランティアセンター実践力向上支援事業 (生環) 210万円

I 消防団員数の確保 R5団員数(R1との比較)
基本団員 8,074(▲931)
機能別 " 408(+81)

II 防災士の養成数
目標:4,720人(R10)
各自主防災組織に2名程度配置できるよう養成

III 地区防災計画の策定
目標:100計画(R10) (R4 28計画)
防災訓練の実施
目標:全組織実施

IV ボランティア数の増加
目標:5,800人(R9) (人口10万人当たり)

・出火率全国最小の継続
・防災士の熱心な活動による自主防災組織の活動の活性化

・地区防災計画に基づく避難訓練の実施による地域防災力の向上

・共助の取組みの推進による安全・安心実感の充実

・行政、社会福祉協議会、ボランティア総合支援センター、災害中間支援組織の円滑な連携による被災者支援体制の確立

安心・心の余裕

・住まいが安全・安心と実感
・心から安らげる場所がある

思いやり

・他の人を喜ばせたい、楽しませたいと思い行動
・親切な対応や手助けを心がけ

つながり (地域)

・地域の方に助けられる安心感
・地域で前向きな気持ちになる

つながり (富山県)

・防災について不安の解消

背景・現状

○ウェルビーイング指標

・つながり (富山県) 暮らしに不安はない (防災・防犯)

30代: 2.87 40代: 2.82
50代: 2.79

○ウェルビーイング県民意識調査

・防災等に不安を感じていても、(仕事や家庭の都合などから) 防災活動等への参加が難しいと感じている

→ 30代~50代で多い傾向

○県民意識調査(消防団)

団員の勧誘あっても、年齢や体力、仕事や家庭の都合を理由に入団しないと回答した方 77.9%

3-② 支え・支えられる共助社会の実現

あらゆる世代において、支えられる人（福祉サービスの受け手）が、様々な人とのつながりの中で、自らも支える立場（福祉サービス提供の担い手）となることで、自分らしく、生きがいをもっていきいきと暮らす。そのための様々な選択肢、居場所等がある。

ありたい姿・実現したい未来

課題

・本格的な少子高齢化・人口減少時代を迎えている。特に、高齢者人口がピーク(2040年)を迎える一方、生産年齢人口は減少していく中で、福祉人材の確保は喫緊の課題。
・個人の特性・得意分野を活かした「つながり・支え合い」を創出することが必要

背景・現状

・福祉人材の確保は、プロフェッショナルな資格をもつ人だけでなく誰もが人材になりえる。
・支援を必要とする状況にある人たちが支援の機能を果たすことでお互いがエンパワーメントしていく活動が広がっている。

○ウェルビーイング指標

(例) 10~20代 70代以上

心身の健康	3.33	2.92
生きがい・希望	3.01	2.51
安心・心の余裕	3.34	2.96
自分らしさ	3.38	3.14
つながり(地域)	2.89	2.85

・子ども食堂の数 (R3)26箇所→(R5.11末) 57箇所
・がんピアサポーター数 (R3) 113人→(R5) 132人

対象

高齢者、障害者、子ども・若者

特に

課題を抱える当事者であり、同時に支援する役割も担う者

実施事業 (インプット)

直接の結果 (アウトプット)

影響・変化 (アウトカム～インパクト)

- ① 多胎ファミリーピアサポート事業 76万円
 - ・育児負担を伴う多胎児を持つ家庭と地域をつなぐ交流会等の実施
 - 障害、がん患者等のピアサポート事業 障害280万円、がん316万円
- ① 子ども食堂応援事業 320万円
 - ・特色ある取組みや立ち上げ経費への支援
 - 認知症地域支え合い推進事業 149万円
 - ・認知症サポーター養成講座の開催、認知症の方と支援者をつなぐチームオレンジの設置
- ① 地域からの介護人材参入促進事業 900万円
 - ・養成校の学生や卒業生が、地域住民へ介護の魅力を発信
 - 元気高齢者による介護助手マッチング支援事業 640万円
 - ・介護助手普及推進員が介護助手の普及・導入を促進
 - ふれあいコミュニティ・ケアネット21事業 6,200万円

- 多胎児世帯向け交流会開催：県内2箇所(富山、高岡)、各2回
- 障害者ピアサポート研修開催：3コース(基礎・専門・フォローアップ)、がんピアサポーター研修開催：2コース(養成・フォローアップ)
- 子ども食堂の特色ある取組みへの支援・立ち上げ初年度の運営費支援：各20団体
- 認知症サポーター養成：年4,000人、チームオレンジ新規設置数：年3チーム
- 地域住民への介護の理解促進のための出前講座：20地区で計40回開催
- 介護助手のマッチング件数：24件
- ケアネット活動の取組み地区数：306地区

- ・人々が支え合い、つながりを持ちながら安心して生活を送ることができる。
- ・自分が誰かを助けているという生きがいをもつことで、自分らしくいきいきと暮らすことができる。
- ・福祉人材の確保と掘り起こし(まちにいる人みんなが人材)
- ・地域や社会に積極的に関与し、貢献できる自己有用感の向上
- ・自分自身を肯定的に捉え、積極的にチャレンジする意欲の向上
- ・前向きなチャレンジを、周りが尊重し、実現を応援できる雰囲気醸成

ウェルビーイング向上

心身の健康

・心の状態は健康だと感じている

生きがい・希望

・自分が誰かを助けているという生きがいを感じている

安心・心の余裕

・自分を受け入れてくれて心から安らげる場所がある

自分らしさ

・自分らしくいきいきと暮らすことができる

つながり(地域)

・地域での自己有用感

特に犯罪に巻き込まれやすい高齢者が、サイバー空間を含めて防犯意識を持ち、犯罪に巻き込まれる不安なく、安全・安心に生活でき、高齢者の周りの人々が、防犯に主体的に取り組むことで、家庭や地域、職場などにおいて人々とのつながりを感じながら、高齢者を見守ることができる共生社会の実現を目指す。

ありたい姿・実現したい未来

課題

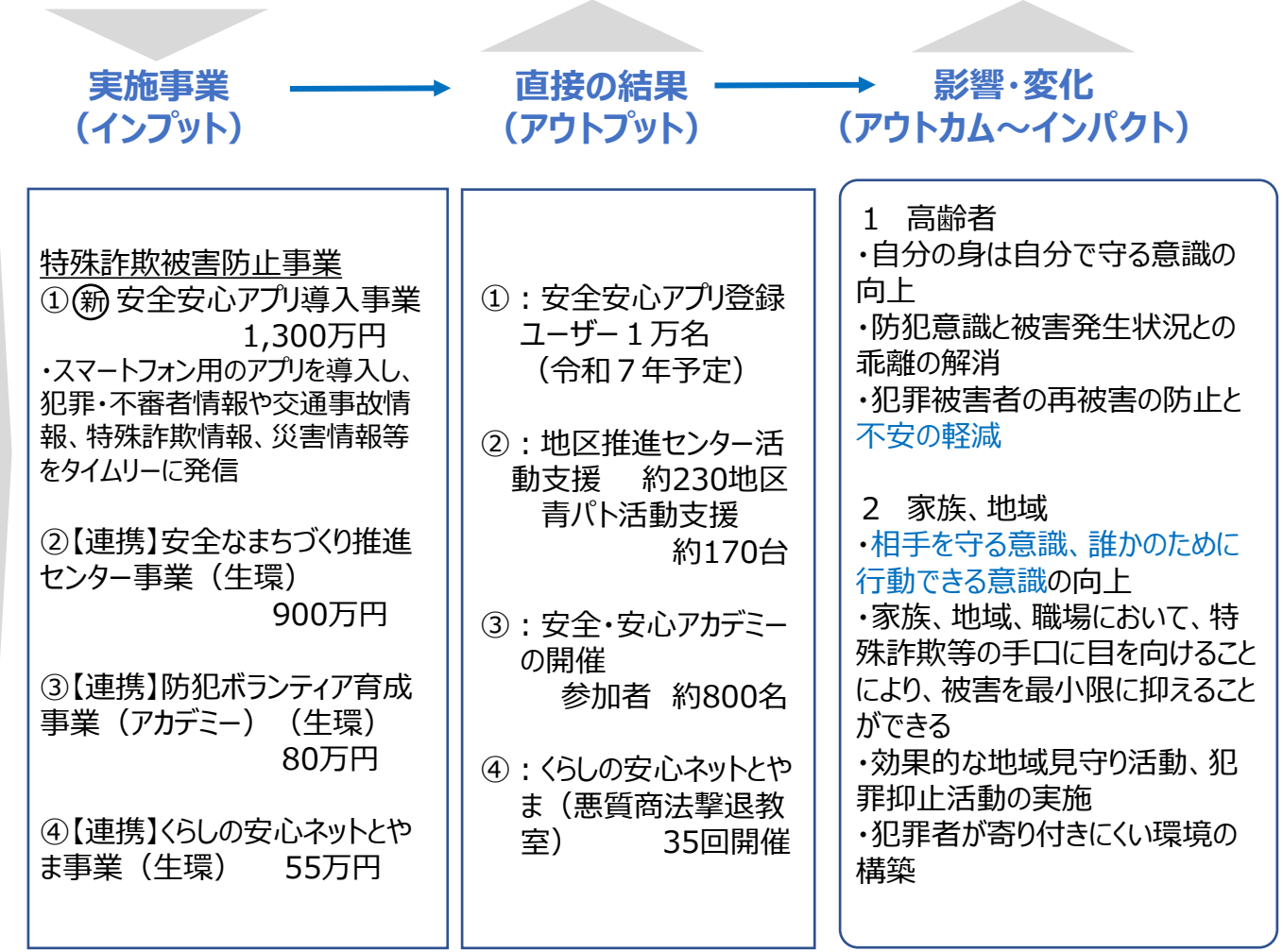
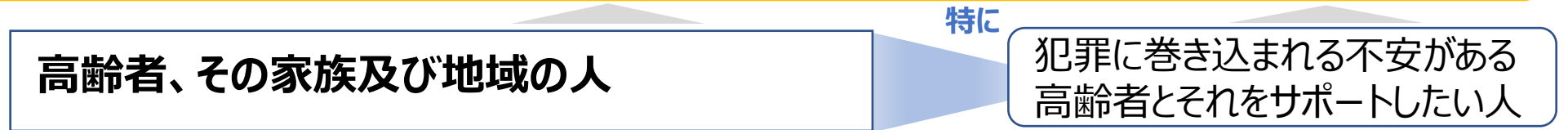
- ・地域や住まいの安全・安心に不安を感じているが、地域での防犯活動へ積極的に参加する意識が低い一方、地域での防犯カメラ設置等、高齢者の見守りに先端技術を活用する必要がある状況
- ・富山県が犯罪のループホール（抜け穴）にならないよう対策が必要

背景・現状

ウェルビーイング指標

	10～50代	60代以上
・総合実感（未来）	5.98	4.88
・安心・心の余裕	3.12	2.93
・思いやり	3.30	3.03
・つながり（家族）	3.40	3.20
・つながり（地域）	2.71	2.76
・つながり（富山県）※うち防災・防犯	2.98、	2.92

・令和5年12月末現在、特殊詐欺等による被害額は約12億8000万円。
【内閣府の治安に関する世論調査】
・偽の情報を含め様々な情報がインターネット上で氾濫し、それが容易に手に入るようになった66.4%
【県政世論調査】
どのような犯罪に不安を感じるか
・空き巣等の住宅に侵入して物を盗む犯罪57.6%、オレオレ詐欺をはじめとした特殊詐欺51.4%、インターネット（パソコン、スマートフォン）を利用したワンクリック詐欺やオークション詐欺等38.3%



ウェルビーイング向上

総合実感（未来）

- ・未来への期待・希望

安心・心の余裕

- ・生活環境が安全・安心できる

思いやり

- ・他者への親切、手助けの広がり

つながり（家族）

- ・家族の安全・安心をサポート

つながり（地域）

- ・困った時に地域の人々は助けてくれるという繋がりの実感

つながり（富山県）

- ・防犯面において、富山県での暮らしに不安がない

3-④ デジタル変革で紡ぐワクワクする富山県づくり

若者から高齢者まで、誰もがデジタル変革による成果を享受し、ゆとりと豊かさを実感できる富山県

ありたい姿・実現したい未来

課題

- ・人口減少・少子高齢化の進展により、社会を支える担い手不足に伴うサービスや産業競争力の低下、地域社会機能の衰退等が懸念され、富山県の未来に対するワクワク感が減少
- ・その克服のためには、様々な分野でデジタル変革が不可欠
- ・複雑化する地域課題に対し、社会全体で一層連携して取り組むことが必要

背景・現状

・**ウェルビーイング指標**
総合実感(0~10)では、年代が上がるに連れて現在よりも未来にかけての評価が下がる傾向

30代(現在)	5.76	↑(未来)	5.81
40代(現在)	5.44	↓(未来)	5.43
50代(現在)	5.38	↓(未来)	5.20
60代(現在)	5.54	↓(未来)	5.02

・特に30代以上は、富山県の未来に期待や楽しみ、ワクワクする気持ちが低い(1~4)

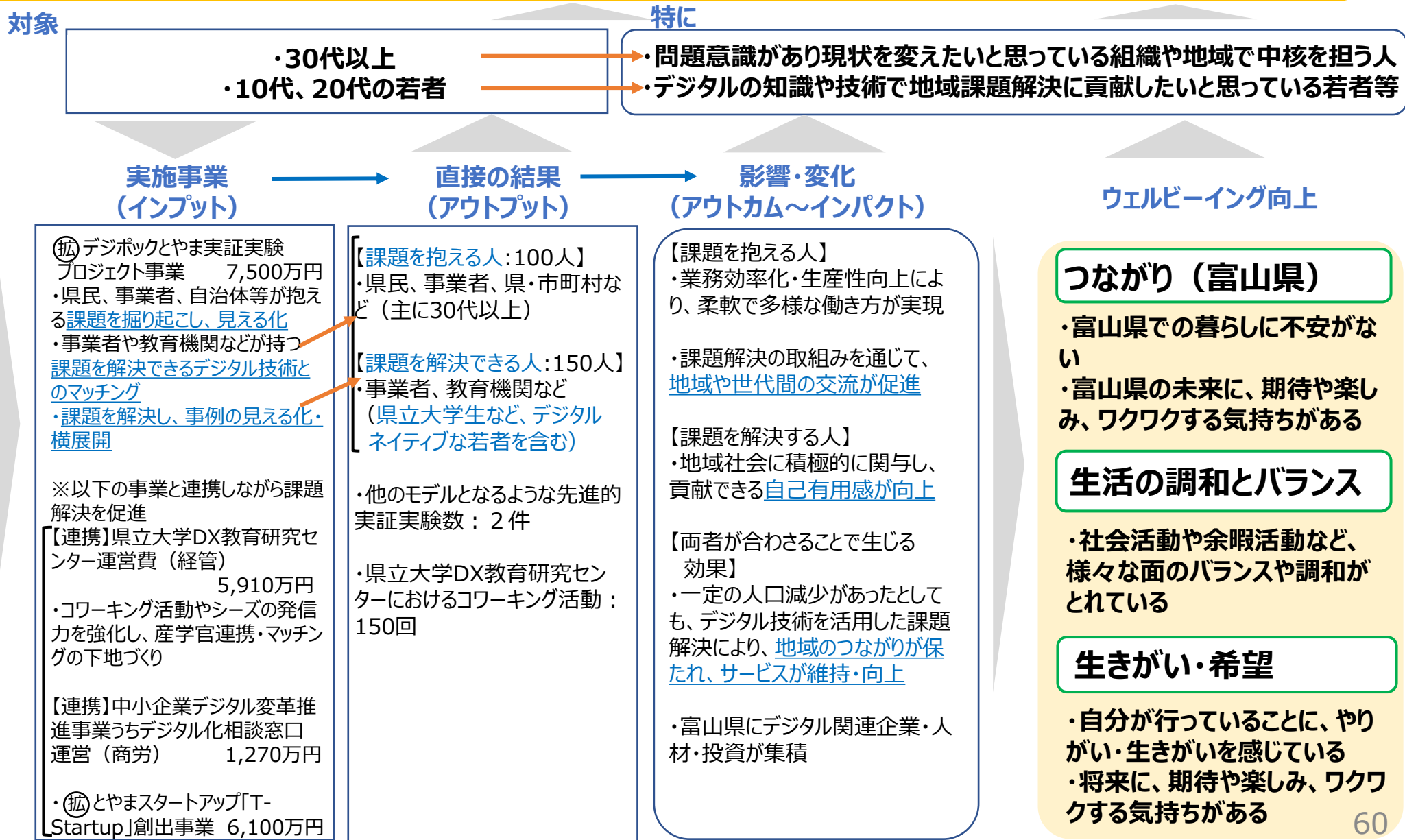
30代	2.22	40代	2.15
50代	2.16	60代	2.29

・**生活の調和とバランス実感**

30代	2.72	40代	2.72
50代	2.70	60代	2.78

・**やりがい・生きがい**を感じている

10代	3.34	20代	2.96
-----	------	-----	------



4 ウェルビーイングを守り・支える“**幸せの基盤**”の**保全と発展**

施策テーマ	とりまとめ部局
①ウェルビーイングの向上をもたらす最適な地域交通サービスの実現	交通政策局
②ウェルビーイングを支え、高める住まいの確保	土木部
③県民の命を守り、ウェルビーイングを支える強靱な公共インフラの整備	土木部
④県営電気・水道の安定供給とSDG s への貢献	企業局
⑤食を通じた県民の幸せ実感の向上	農林水産部
⑥様々な人が地域とのつながりを実感し、自分らしくいきいきと暮らすことができる富山の未来に向けた地域づくり	地方創生局
⑦「デコ活ー脱炭素につながる新しい豊かな暮らしー」の取組み拡大	生活環境文化部

4 ウェルビーイングを守り・支える“幸せの基盤”の保全と発展

関連指標等

安全・安心、未来への希望等に関するウェルビーイング指標の状況

	なないろ指標 (抜粋) 4段階 (1~4)			つながり指標 (抜粋) 4段階 (1~4)			総合指標 (抜粋) 11段階 (0~10)					
	安心・心の余裕	①住まい 快適・安全・安心	②心から 安らげる 場所	生きがい・希望	④将来に 期待、楽 しみ	家族	富山県	①ウ移動 (交通) 不安なし	⑤未来に 期待、楽 しみ	⑥愛着や 誇り	現在	未来
10代	3.50	3.61	3.62	3.23	3.08	3.62	3.13	2.60	2.76	3.34	6.56	6.96
20代	3.18	3.32	3.44	2.79	2.63	3.44	2.76	2.26	2.33	3.24	6.02	6.45
30代	3.05	3.26	3.31	2.57	2.40	3.38	2.60	2.33	2.22	3.09	5.76	5.81
40代	2.92	3.07	3.21	2.48	2.24	3.33	2.56	2.27	2.15	3.09	5.44	5.43
50代	2.94	3.04	3.20	2.45	2.17	3.22	2.56	2.26	2.16	3.10	5.38	5.20
60代	2.91	2.97	3.05	2.53	2.26	3.15	2.67	2.51	2.29	3.04	5.54	5.02
70代以上	2.96	3.03	3.14	2.51	2.15	3.26	2.74	2.57	2.38	3.10	5.58	4.72

富山県で暮らしていて、「幸せ」を感じること

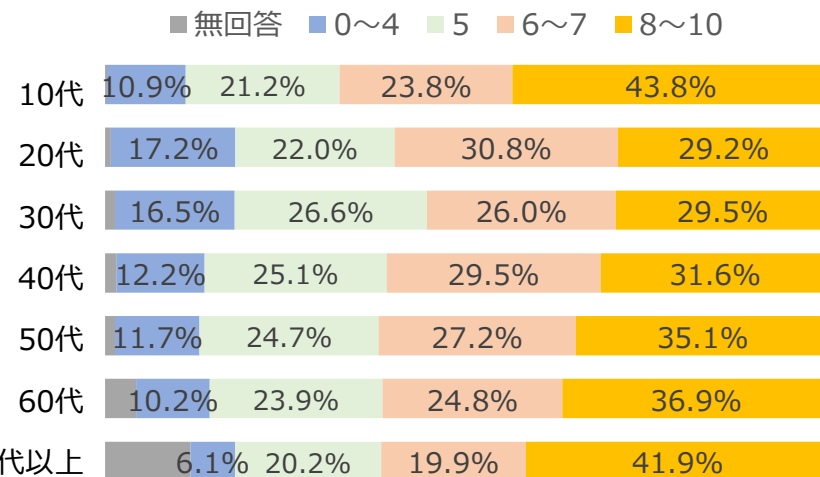
R4県民意識調査、自由記入回答を分類 ※自由記入回答者は1,930名

	カテゴリ	主なキーワード	回答数	割合
1	自然	自然、海、山 (立山)、空気、自然環境	674	34.9%
2	災害・治安	災害 (少ない)、犯罪 (少ない)、安全	533	27.6%
3	食べ物	食べ物、水、魚、米	342	17.7%
4	住環境・生活環境	住まい (家)、生活、地域、医療福祉、交通、教育	117	6.1%
5	家族との関係	家族	96	5.0%

「富山県で暮らすこと」家族や親しい友人にどの程度おすすめしたいと思いますか。

(R5ウェルビーイング県民意識調査)

※10「非常にそう思う」～0「全く思わない」の11段階



指標の状況を踏まえた施策の方向性

- ◆ 日常生活に大きく影響する**食**や**住まい**の視点からのウェルビーイング向上
- ◆ **安全・安心**な**生活、事業活動**等を支える**基盤**の**維持・向上**
- ◆ **未来の世代**へ、**安全・安心、希望**を繋いでいく**取組み**

4-① ウェルビーイングの向上をもたらす最適な地域交通サービスの実現

全市町村に鉄道が通る本県の強みを活かし、鉄軌道や駅を中心にあらゆるサービスが一つにつながるネットワークが形成され、ウェルビーイングを向上させる持続可能で最適な地域交通サービスを実現している。

ありたい姿・実現したい未来

課題
・交通事業者の経営環境は厳しさを増しており、事業者がサービスの利便性・快適性の向上に取り組むには困難な状況
・地域交通サービスは「公共サービス」であり、自治体・県民の役割を事業者への側面支援から、自らの地域に対する「投資」「参画」へと舵を切ることが必要

背景・現状

・県民一人当たりの地域交通の利用回数
H27：42.4回/年 ⇒ R4：39.8回/年
・地域交通の利用で便利で使いやすい、安全快適に移動できたと感じた方の割合 R5：38.9%
・地域交通の利用でお得に出かける、健康や環境にいいことができたと感じた方の割合 R5：23.0%

ウェルビーイング指標

	10～20代	70代以上
安心・心の余裕	3.34	2.96
生きがい・希望	3.01	2.51
自分らしさ	3.38	3.14
つながり(富山県)	2.95	2.74
うち移動不安なし	2.43	2.57

対象

○県民全体
・通勤・通学・通院・買い物等、地域交通サービスを利用する方
・店舗・企業、学校、観光施設など、沿線の施設の関係者
・地域交通サービスの従事者等

特に

運転免許を持たない方
(学生、高齢者 等)

実施事業 (インプット)

- I 地域の活力・魅力向上のための「投資」
 - ① 新交通まちづくり投資促進事業 1,000万円
 - ② 新地域共創型移動サービス推進事業 2,600万円
 - ③ 新交通デジタル投資促進事業※一部生環と連携 500万円
 - ④ 新公共交通担い手ウェルビーイング向上推進事業 400万円
- II 地域の活力・魅力向上のための「参画」
 - ① 新公共交通を中心としたライフスタイル形成事業 550万円
 - ② 新交通まちづくり参画促進事業 1,000万円
 - ③ 新「電車・バスで行こう！」推進事業 500万円
 - ④ 新富山県MaaS利用拡大事業 1,000万円

直接の結果 (アウトプット)

- I 地域の活力・魅力向上のための「投資」
 - ①、②、④ 県民一人当たりの地域交通の利用回数の増加 R4 39.8回/年 ⇒ R10 50.0回/年
 - ③ 地域交通の利用で便利で使いやすい、安全快適に移動できたと感じた方の割合の増加 R5 38.9% ⇒ R10 48.6%
- II 地域の活力・魅力向上のための「参画」
 - ①、②、③ 地域交通の利用でお得に出かけることができた、健康や環境などいいことができたと感じた方の割合の増加 R5 23.0% ⇒ R10 29%
 - ④ MaaSアプリ (my route) DL数の増加 R5 18,268 DL ⇒ R10 50,000DL

影響・変化 (アウトカム～インパクト)

自治体・県民の「投資」「参画」が進むことで

- 地域交通を利用した通勤・通学等の移動が、これまで以上に便利で快適だと感じる
- 免許返納後の生活等について不安を抱かず、社会と関わりをもち生き生きと暮らせる
- 日々の生活の中で、お得感、満足感、新しい発見を得られる
- 働きやすさ、やりがいを感じながら活躍できる、サービスを担う多様な人材の増加

ウェルビーイング向上

安心・心の余裕

・使いやすく便利な公共交通サービスにより、安全・快適に移動でき、社会と関わりをもてる

生きがい・希望

・公共交通を中心としたまちづくりにより、生き生きと暮らし、日々の生活の中で新しい発見が得られる

自分らしさ

・新たなモビリティサービスの創出により、自分の意思で自由に移動できる

つながり (富山県)

・地域住民や地元企業・店舗等が地域に貢献しているとやりがいを実感できる
・移動への不安感が小さくなる

4-② ウェルビーイングを高め、支える住まいの確保

- 空き家の解体or再利用の峻別が進展し、まちなかを中心に空き家問題が解消されている
- 高性能（高断熱・耐震）リノベ住宅が数多く市場流通し、住宅需要者の選択肢が増加している
- 人口と新築需要が減る中でも、高度なりノベ技術を武器に工務店の生業が維持されている

ありたい姿・実現したい未来

- 課題
- ヒートショックが多い。
 - 光熱水費等のランニングコストの上昇。
 - 耐震化率が全国より低い。
 - 世代進行により空き家増加が加速化する一方で、市場流通や解体or再利用の峻別が進んでいない。

背景・現状

- 面積・部屋数全国1位
 - R3入浴中事故死：145人（R4交通事故死：34人）
 - H30県耐震化率：80%（H30全国耐震化率：87%）
 - H30空家率：13.3%（H25空家率：12.8%）
- 【ウェルビーイング県民意識調査】
※20～40代/既婚/一戸建て所有
住まいに求めること
- ・防災面の性能(6割)
 - ・断熱・遮熱・気密性(3割)

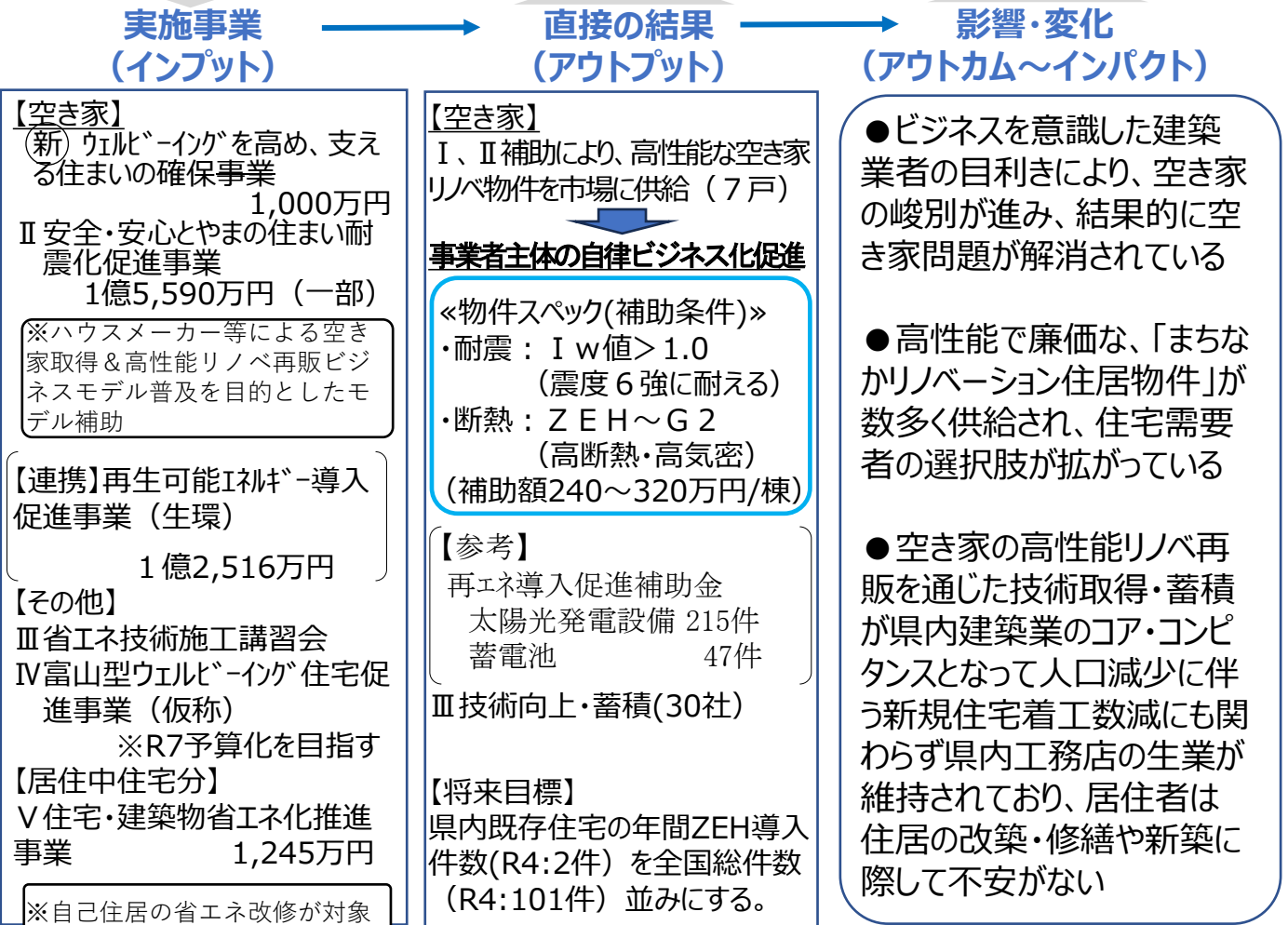
- ウェルビーイング指標
- ※20～40代/既婚/一戸建て所有
- 心身の健康実感3.05
 - 経済的なゆとり実感2.70
 - 安心・心の余裕実感3.08
 - つながり実感(地域)2.67

対象

戸建て住宅需要者（20代～60代）
新築需要減対応を要する県内工務店、空き家問題に悩む方々

特に

まちなかでの持ち家取得を希望する方（若年世帯）



ウェルビーイング向上

- 安心・心の余裕**
 - ・災害時の危険リスク減（耐震性能上昇）
 - ・防犯・防災（空き家減少）
- 心身の健康**
 - ・年中、快適な暮らし（高気密、高断熱）
- 経済的なゆとり**
 - ・光熱水費等のランニングコストの減（高気密・高断熱）
 - ・エネルギーコストの減（同等新築費）
- つながり（地域）**
 - ・様々な人とのつながりが生まれる「まちなか居住」の促進による市街地空洞化の抑制

安全・安心で利便性の高い社会資本が整備され、生活の豊かさを感じ続けることができる。

ありたい姿・
実現したい未来

課題

- ・全国で自然災害が頻発しており、**災害による人命・財産の被害を防止・最小化**する必要がある。
- ・**優先度を考慮した老朽化対策**を実施する必要がある。
- ・物流や生活の基盤となる**信頼性の高い社会資本を整備**する必要がある。
- ・**建設業が地域の「守り手」として誇りに満ちた魅力ある産業**となる必要がある。

背景・現状

- 激甚化・頻発化する自然災害**
 - ・令和3年1月大雪
 - ・令和5年6、7月豪雨
 - ・令和6年能登半島地震
- 社会資本の整備状況**
 - ・道路改良率：82.5% (R3)
 - ・河川整備率：57.1% (R4)
- 建設業就業者：▲38%(H12→R2)**
- ウェルビーイング指標・県民意識調査** (全年代)
 - ・**安心・心の余裕** うち住まいの安心 82.1%
 - ※「はい」又は「どちらかと言えばはい」
 - ・**つながり（富山県）** うち暮らしの安心
 - 防災：71.4% 移動(交通)：44.6%
 - ※「不安がない」に「はい」又は「どちらかと言えばはい」
 - ・**愛着・誇りがある：78.5%**
 - ※「はい」又は「どちらかと言えばはい」
 - ・**富山県での暮らしをすすめたい 51.6%** (11段階評価7以上)

対象

各種社会資本を基盤として日常生活や事業を営む県民等、地域の「守り手」である県内の建設業従事者

実施事業
(インプット)

- I 治水・砂防などの防災対策**
 - ①河川・海岸事業 61.1億円
 - ②砂防事業 38.7億円
 - ③道路法面对策 9.0億円
- II インフラの老朽化対策**
 - ①定期点検及び計画的な修繕・更新 159.9億円
- III 物流と生活を支える社会資本の整備**
 - ①安全・安心のみちづくり 150.0億円
 - ②道路ネットワークの整備 38.6億円
 - ③港湾の整備 22.7億円
- IV 建設業の担い手確保**
 - ①建設業の魅力発信イベント 350万円
 - ②建設企業等への補助など 1,610万円

直接の結果
(アウトプット)

- I 治水・砂防などの防災対策**
 - ①河川堤防、離岸堤の整備 など
 - ②砂防堰堤、待受擁壁の整備 など
 - ③法面保護工、落石防護工の整備など
- II インフラの老朽化対策**
 - ①橋梁、トンネル、ダム、下水道等の点検・修繕・更新 など
- III 物流と生活を支える社会資本の整備**
 - ①通学路などでの歩道や消雪施設の整備、道路除雪の実施 など
 - ②道路ネットワークの骨格を形成する幹線道路や生活に密着した道路の体系的な整備 など
 - ③国際拠点港湾としての役割を果たすための機能強化 など
- IV 建設業の担い手確保**
 - ①けんせつ×テックフェスの開催
 - ②建設業バックオフィス業務DX化推進支援：約10件
 - 建設業担い手確保支援：約5件 など

影響・変化
(アウトカム～インパクト)

- I 耐震性向上や水害リスクの低減等により、安全・安心な県民生活の向上**
- II 計画的な維持管理・更新により、安定した生活環境の維持**
- III 移動時間の短縮や輸送コスト低下等により、経済活動における生産性の向上、ビジネス機会の拡大、民間投資の誘発・促進**
- IV 地域の「守り手」である建設業の経営基盤の安定、担い手の確保**

ウェルビーイング向上

安心・心の余裕

- ・住まいの快適・安全・安心感

つながり（富山県）

- ・富山県での暮らしの安心感【防災】【移動(交通)】
- ・富山県での暮らしをすすめたい気持ち
- ・富山県への愛着や誇り

4 - ④ 県営電気・水道の安定供給とSDGsへの貢献

ウェルビーイングを支える県営の電気と水道・工水が将来にわたり安定して供給されることにより、**クリーンエネルギーの拡大**や**産業基盤の整備**が進み、**県民や事業者が安心して生活や事業活動を**続けている。

ありたい姿・実現したい未来
課題

- ・電気・水道は生活に不可欠なライフラインであり、**供給が止まると大きな支障（安心感が低下）**
- ・施設が**老朽化**しており（代替施設なし）、**計画的な整備**が必要
- ・安定供給のためには、**ICT等の活用**による業務の効率化、**技術系人材の確保**が必要
- ・安定供給を通じて、**SDGs 目標達成への貢献**が求められる

背景・現状

- ウェルビーイング指標、県民意識調査**
- ・安心・心の余裕実感
- 10～20代 3.34 30～40代 2.98
- 50～60代 2.92 70代以上 2.96
- ・**つながり（富山県）** ※全年代のうち、愛着・誇りがある：78.5%
- 未来への期待やワクワク：33.5%
- ※「はい」又は「どちらかと言えばはい」
- ・**富山県での暮らしをすすめたい** 51.6% (11段階評価7以上)
- 供給電力量 490,566MWh/年 (県内シェア約4%)
- 故障による発電停止時間 19時間
- 水道実給水量 33,010千m³/年 (県内シェア約30%)
- 工水実給水量 67,632千m³/年 (供給先96事業所)
- 水道・工水の安定供給達成率 (事前調整を行った断水除く) 各100%
- ※以上のデータはR4年度実績
- 電気職上級試験申込倍率 R3)1.7→R4)3.0→R5)2.2倍

対象

- 電気：地元電力会社と契約している県民、事業者（企業局は地元電力会社に売電）
- 水道：県西部4市の水道を利用している市民、事業者（企業局は県西部4市に供給）
- 工水：県営工業用水道を利用している事業者

実施事業 (インプット)

直接の結果 (アウトプット)

影響・変化 (アウトカム～インパクト)

ウェルビーイング維持/向上

I 電気の安定供給

- ①**発電所リブレース** 45億8,153万円
- ②発電所オーバーホール 9億507万円
- ③発電所の通信環境改善 1億7,246万円

II 水道・工水の安定供給

- ①**施設の機能維持対策** 7億9,000万円
- ②管路の更新 26億2,500万円
- ③漏水検知システム構築 1,720万円 (県立大学と共同研究)
- ④管路デジタル台帳システム構築 1,074万円

III 技術系職員の確保 100万円
【連携】(経管、生環、土木、教委、人委)

- ①若手職員による出身大学訪問
- ②高校生等の現場見学会の実施
- ③就活生向け情報発信の充実

I 電気の安定供給

- ①:**若土発電所R6竣工**、他3発電所の工事進捗、**発電電力量の増16,293MWh/年** (リブレース後(R10)、小水力発電所約6か所分)
- ②:発電所の長寿命化
- ③:発電所(6か所)の保守管理の効率化、異常の早期発見

II 水道・工水の安定供給

- ①:機能維持対策が着工に向けて進捗
- ②:管路更新が計画的に進捗
- ③④:漏水検知の早期化、現場の施工性の向上

III 技術系職員の確保

- ①:訪問5校
- ②:見学受入れ50人
- ③:HPアクセス数の増

- ・県営の電気と水道を県民が安心して利用 ⇒**安全・安心な県民生活や事業活動が持続**
- ・**再生可能エネルギーの拡大** ⇒カーボンニュートラルやSDGsが進展
- ・工水システム全体の冗長性の向上 ⇒**産業基盤が充実**
- ・安定供給を担う技術職員の充足とDX促進 ⇒**技術力の維持確保、業務効率化の進展**

安心・心の余裕

- ・住まいの快適・安全・安心感

つながり（富山県）

- ・富山県での暮らしの安心感
- ・富山県への愛着や誇り
- ・富山県の未来への期待や楽しみ、ワクワク感
- ・富山県での暮らしをすすめたい気持ち

4 - ⑤ 食を通じた県民の幸せ実感の向上

健全な食生活を通じて県民が心身の健康維持・増進に努めている。
県民が「とやまの食」に愛着と誇りを持ち、農林水産業への理解と応援する機運が高まっている。

ありたい姿・実現したい未来

課題

- ・食育の関心は高いが、栄養バランスのよい食生活が実践されていない
(特に若い世代の意識や実践が不十分)
- ・「とやまの食」に満足感はあるが、県産品の購入者が少なく、学校給食での活用率も低い
→「とやまの食」を支える農林水産業への理解と応援が必要

対象

消費者

特に

- ・若者世代
- ・子どもとその親（子育て世代）

実施事業 (インプット)

直接の結果 (アウトプット)

影響・変化 (アウトカム～インパクト)

ウェルビーイング向上

心身の健康

- ・身体と心がともに健康な状態
- ・将来の健康状態への安心感の向上

つながり (家族)

- ・家族等と嬉しい、楽しいなどポジティブな気持ちが共有できる

つながり (富山県)

- ・「とやまの食」への愛着が深まり、県産品を選びたい意識が向上
- ・県民が県産品を購入することで、生産者の意欲が向上
- ・消費者・生産者の相互理解と連携協力が深まり、持続可能な農業が実現する

背景・現状

- 食育に関心がある 90.0%
- カロリーや栄養バランスを考えて食事する 54.0%
(20代以下が32%と低い)
- 県産品を意識して購入する 56.7%
(20代以下が37%と低い)
- 学校給食の県産食材活用率 23.4%
- R4ウェルビーイング県民意識調査
- ・富山県で暮らしていて、「幸せ」を感じるの、どういふことか「食」を挙げている方が多い (回答者の約18%)
- ウェルビーイング指標 (10～40代平均)
- 心身の健康実感 3.16
- つながり (家族) 3.44
- つながり (富山県) 2.77

I 健康で豊かなくらし

- ①とやま食育運動推進事業 992万円 ※②の事業費を除く
三世代や若者を対象とした料理教室、講座の開催
- ②(新)とやま食育フェア開催事業 600万円
料理などの実践的な知識の習得を目的とした食育フェアの開催、実践キャンペーンの実施
- ③【連携】栄養の日・栄養週間普及推進事業 (厚生) 150万円
栄養バランスなど適正な食生活の普及啓発
- ④食品安全確保総合対策事業 309万円
食品安全等へ理解促進、食品表示の普及啓発

II 「とやまの食」を応援

- ①地産地消推進事業 1,120万円
アプリ「食ベトクとやま」での旬情報発信、キャンペーン等による生産者応援の機運醸成
- ②(新)とやまグルメ・フードフェス開催事業 800万円
県産農林水産物等のPRや食への理解醸成
- ③(新)「とやまテロワール」創造支援事業 400万円
土地の個性(テロワール)を活かした野菜の生産拡大と飲食店等へのPR
- ④(新)とやまの食文化魅力発信事業 300万円
とやまの食文化の魅力をSNS等により発信
- ⑤環境にやさしい農業「みどり戦略」推進事業 6,200万円
有機農業の生産振興を通じた流通・消費量拡大
- ⑥【連携】学校給食を通じた食育の推進 (教委)

- I ①：三世代クッキングセミナー
参加者 延べ2,000人
若者向け食育講座・講演 6回
- I ②：フェア来場者 2,000人
キャンペーン応募者 300人
- I ③：普及啓発の回数 15回
普及啓発の対象者 750人
- I ④：食品安全啓発対象1,000人

- II ①：地産地消 食ベトクアプリ
ユーザー数 8,000人
- II ②：来場者数 25,000人
- II ③：テロワール創造産地数5産地
テロワール使用飲食店等数の増
- II ④：YouTube、Instagram等の閲覧数の増
- II ⑤：有機農業の取組面積 (R2)219ha→(R8)300ha
- II ⑥：県産食材活用率(学校給食) (R4)23.4%→(R8)32%

- ・食に関する知識の習得や食育の体験により、健全な食生活を実践する意識が向上する。
- ・家族等と一緒に食事や料理する機会や、食について考える時間が増加する。
- ・地域の食材や伝統食への理解が促進され、食や食文化に対する愛着や誇りが高まる。
- ・応援消費の機運が醸成され、地元の食材を積極的に購入(活用)しようとする行動が活発になる。
- ・生産者も消費者ニーズに応える農産品を生産しようとする。

ありたい姿・
実現したい未来

年齢や性別に関わらず、様々な人が、地域の維持・活性化に携わることで、自分らしくいきいきと暮らすことができるとともに、地域との豊かなつながりが生まれ、地域や富山の未来に希望を持つことができる。

課題

対象

特に

地域とのつながりが薄い30代～50代

30代～50代の
地域活動への参加に関心のある者

・40代50代のウェルビーイングが低く、その一因として地域・富山県とのつながりが希薄。地域活動への参加率も低い。
・中山間地域・田園地帯では、集落機能が低下している。
・地域活動への参加を通じ、地域資源の魅力を再認識するとともに、地域・富山県とのつながりを持つことで、総合実感を高めていく。

背景・現状

・**ウェルビーイング指標**
 つながり(地域) 30代 2.57
 つながり(富山県) 40代 2.56, 50代 2.56
 生きがい・希望 40代 2.48, 50代 2.45
 総合実感(未来) 40代 5.43, 50代 5.20
 ・県政世論調査R5
 -県外へ紹介できる県内魅力たくさんある21.0%
 -地域の活動への参加参加していないが今後は参加したい13.5%
 ・社会動態の推移(日本人) R5 : △2,067人

実施事業
(インプット)

直接の結果
(アウトプット)

影響・変化
(アウトカム～インパクト)

ウェルビーイング向上

**I 地域内での交流による
つながり創出・魅力発見**
 ・(新) まちづくり組織創出モデル事業 300万円
 ・中山間地域「話し合い」促進事業 800万円
 ・中山間地域チャレンジ支援事業 1,425万円

II 地域外出身者も含めたつながり創出・魅力発信
 ・【連携】(新) 持続可能な魅力ある田園地域創出事業 (知政) 1,850万円
 ・【連携】中山間地域保全パートナーシップ推進事業 (農水) 300万円
 ・【連携】(新) 「就活ラインとやま」情報発信強化事業 (商労) 1,700万円
 ・(拡) とやま移住魅力体験助成事業 350万円

**まちづくり組織を創出し
地域活動の機会をつくる**

・「話し合い」支援地区数 累計 R6累計 50地区
 ・個性的なまちづくりに向け、地域での新たな取り組みや発展的な事業展開を行う組織の創出 15組織
 ・自然風土文化を組み合わせた持続可能なまちづくりプロジェクトの創出

**地域との豊かなつながりで
多様な人材を惹きつける**

・地域おこし協力隊定着率 80%
 ・県・市町村の相談窓口を通じた移住者数 R6 1000人

・地域や社会に積極的に関与し、貢献できることで**自己有用感**が向上する

・前向きな**チャレンジ**を周りが尊重し、実現を応援することで、**他者への関心、相互理解**が深まる

・県内外の交流が広がり、地域や富山県の良さを再認識し、**愛着や誇り**が芽生える

・**生業**が生まれ、**持続可能な地域**のビジョンが展望でき、世界に誇れる田園地域となる

つながり (地域)

・地域での**自己有用感**
 ・生活の**やすらぎ・安心感**
 ・**家庭・職場以外の「居場所」**に

つながり (富山県)

・地域資源への**新たな価値創出**
 ・**世界に誇れる富山県の実現**

生きがい・希望

・前向きな**チャレンジ**による**自己実現**
 ・**将来に希望を持って生活**できる

総合実感 (未来)

・**地域の明るい未来を展望**
 ・**持続可能で自走するまちづくり**

4 - ⑦「デコ活 - 脱炭素につながる新しい豊かな暮らし-」の取組み拡大

【生活環境文化部】

「デコ活：CO₂を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた言葉」

環境配慮意識が高まり、行動が変容していくことにより、県民が負担に感じることなく脱炭素社会が実現している。

ありたい姿・
実現したい未来

課題

- ・県内の温室効果ガスの2割は家庭部門から排出され、カーボンニュートラル戦略の目標達成には、家庭部門で62%の削減が必要
- ・食品ロスや宅配便の再配達は、温室効果ガスの排出増につながり、対策が必要
- ・日常生活や買い物などの身近にできる(資源物回収、エコ商品購入)取組みの普及が必要
- ・住宅への省エネ設備や再エネ(太陽光発電等)の普及が必要

背景・現状

○ウェルビーイング指標

- ・経済的なゆとり
- ・安心・心の余裕
- ・つながり(家族)
- ・つながり(富山県) (うち未来に期待や楽しみ、ワクワクする気持ち)
- ・思いやり(うち、他の人のために親切な対応を心がけている)
- ⇒これらは、年代が20代から40代に上がるほど低下する傾向がみられる
- 県政世論調査(R4)
- ・カーボンニュートラルへの関心度 全世代と比較して20代～40代の割合が低い

対象

家庭 (20代～40代の家庭)

特に

小学生のいる親子、若者の世代 (20～40代)

実施事業 (インプット)

直接の結果 (アウトプット)

影響・変化 (アウトカム～インパクト)

ウェルビーイング向上

I エコライフスタイルの普及

- ① **拡**とやま環境未来チャレンジ事業 950万円
- ② **新**食ロスゼロアクション推進事業 400万円
- ③ エコな配達推進事業 350万円
- ④ **新**デコ活参加促進キャンペーン事業 1,000万円

II 脱炭素に向けた暮らしへの転換

- ① 再生可能エネルギー導入促進事業 1億2,516万円
- ② **拡**省エネ家電・機器買い換え促進による生活支援事業 6億円※R5.11補 1,000万円
- ③ **新**【連携】ウェルビーイングを高め、支える住まいの確保事業(土木) 1,245万円
- ④ **新**【連携】EV導入促進事業(知政) 3,512万円

I エコライフスタイルの普及

- ① 環境未来チャレンジ10 1/3の小学校(R5)⇒参加可能な全ての小学校(R6)
- ② 若い世代の食ロス削減の取組み 83%⇒年1%増⇒90%(R12)
- ③ 再配達の割合 11.4%(R5)⇒7%(R12)
- ④ デコ活の認知度 0%⇒50%(R6)⇒90%(R12)

II 脱炭素に向けた暮らしへの転換

- ① 太陽光発電・蓄電池等 導入件数 263件(R6)
- ② 省エネ家電等の普及 20,400件(R6)
- ③④ 省エネ改修モデル住宅 17戸(R6)(7年度以降拡大)
- ⑤ EV普及促進台数 440台(R6)

- ・子どもと親が一緒になった**家庭での取組み**の拡大
- ・食品ロスや再配達の削減に取り組む**若者の拡大**
- ・脱炭素の実現に向けた「デコ活」に取り組む人の**拡大**
- ・日常生活や商品購入時における**環境配慮行動**の拡大
- ・住宅への太陽光発電や省エネ家電等の**普及拡大**
- ・住宅の省エネ化の**推進**
- ・EVの**普及拡大**

経済的なゆとり

- ・省エネによる光熱費の削減
- ・設備の長寿命化

安心・心の余裕

- ・子どもたちの将来の**安心感**
- ・災害時の**活用(太陽光)**

つながり(家族)

- ・親子での**エコ活動実践によるつながりの実感**

つながり(富山県)

- ・県内で**環境を守る取組みの輪が拡大、つながりを実感**

思いやり

- ・生産者、提供者への**思いやり**